



北東アジア地域自治体連合事務局

The Secretariat of the Association of Northeast Asia Regional Governments



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

2024. 5. 22 ~ 5. 24

May 22 (Wed) - 24 (Fri), 2024



歓迎の辞



敬愛するNEAR会員自治体関係者の皆様！

ご多忙の中、国内及び海外各国から「2024年NEAR会員自治体ワークショップ」に参加して下さった皆様を心より歓迎致します。

特に、今回のワークショップを祝うために、公務でご多忙でありながらも、参加して下さった慶尚北道金學弘(キム・ハクホン)行政副知事、蔚山広域市安孝大(アン・ヒョデ)経済副市長、ブリヤート共和国のムヒン・フセヴォロド第1副総理、ボルガン県タリ・ザルガルサイハン副知事、そして先日私とNEARの発展のための懇談会を開催したことに続き、今日の開会式に大韓民国の広域市道を代表し、参加して下さった13名の国際関係大使にも特に感謝の意をお伝えたく存じます。

今回のワークショップには、特に会員加入を申請した、中国の青海省とキルギス共和国のチュイ州、会員加入検討中である中国の天津市と日本の沖縄県が参加しました。両自治体がいち早くNEARの家族になれるよう、拍手をお願い致します。

北東アジア地域自治体連合は、1996年互惠と平等の精神の基、ここ慶州で設立され、今年で28周年を迎えました。

4か国29自治体連合としてスタートした我が連合は、現在6か国81会員自治体及び1準会員へ拡大し、名実共に北東アジア地方政府間の最大地域間交流プラットフォームとして成長致しました。

今年度も中国青海省の会員加入申請、キルギス共和国のチュイ州の準会員申請など外延が大幅に拡大しました。

また、NEARの様々な行事にも会員自治体の参加が40～50自治体に上るなど、域内の最高水準であり、様々な国際行事から事務総長に対する様々な国際行事への招待が急増するなど、会員自治体のNEARに対する信頼と安定感が非常に大きくなったと存じます。

ここ数年、世界及び北東アジアの情勢が協力よりは競争及び対立によって浮き彫りになっていますが、北東アジア地方政府間の交流と協力を通じた共同発展と平和構築というNEARの主旨は、決して放棄されてはならない価値あるものと確信しております。

特に今年の「会員自治体ワークショップ」は、過去の実務者中心から副知事、局長級の幹部など、高位級までを含むワークショップに変えた初年度で、参加範囲を

拡大し、NEAR及び会員自治体の主要行事紹介はもちろん、会員自治体間の交流を増進する時間を別途設けました。

今回のワークショップを通じて北東アジア地方政府間の多地域間交流プラットフォームとしてのNEARの位相を更に堅くし、会員自治体間の相互交流と友好協力関係をより広げるネットワークを形成する場となりますことを心より願います。

会員自治体ワークショップに参加して下さった会員自治体の関係者の皆様に改めて謝意を伝え、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

北東アジア地域自治体連合事務局 事務総長

林秉鎮

祝辞



敬愛する林秉鎮事務総長、敬愛する会員自治体の皆様。

NEAR 会員自治体ワークショップにご招待いただき、ありがとうございます。

昨年、ブリヤート共和国は第14回蔚山総会に参加させていただきました。総会で中国遼寧省をNEARを導く議長団体に選出し、ロシア アルタイ共和国と中国甘粛省が会員に加わりました。

ブリヤート共和国はロシアの国境地域で、ロシアとモンゴルの国境の最も長い区間は1,273キロメートルあり、ブリヤート共和国にとってこれは大変有利なことです。

エメラルド色で神秘的な、真に雄大なバイカル湖は、ブリヤートの貴重な宝物です。バイカル湖は夏も冬も美しいです。冬のバイカル湖では、自然が作り出す信じられないほど美しい氷の芸術を目にすることができます。毎年バイカル湖の氷上で行われるカーレース「バイカルマイル」とバイカル釣り祭りなどのたくさんのイベントがあります。これらのイベントにはロシア各地からの観光客が集まります。

夏には、バイカル湖のスヴァトイ・ノス半島(Svyatoy Nos Peninsula)を訪れることができます。その水は泳ぐのに快適な温度まで温まります。スヴァトイ・ノスはザバイカル国立公園の一部で、ウシュカニ諸島に営巣しているバイカルアザラシを鑑賞できます。バイカルアザラシはバイカル湖のシンボルであり、世界のどこにも見られない固有の動物です。

ブリヤート共和国はアジア太平洋地域の国々と物流機能及び便利な地理的位置に加えて、共通の文化と宗教によって繋がっています。

昨年、ブリヤート共和国は「伝統仏教と現代の課題」をテーマに第1回国際仏教フォーラムを開催しました。仏教を信仰する13カ国の当局者、宗教団体、学界の代表が参加しました。参加国はブータン、ベトナム、インド、カンボジア、中国、ラオス、モンゴル、ミャンマー、ネパール、タイ、スリランカ、ベラルーシ共和国、チェコです。

ブリヤート共和国は、国際社会の平和と持続可能な発展のための国際協力の重要性を認識し、相互尊重と互惠関係に基づいて、教育、文化、観光、物流及び貿易経済の分野を含むすべての主要分野で地域間および国際協力を発展させていきます。

NEAR事務局の歓待に感謝し、参加者の皆様の有益な討論と協力をお祈りいたします。

ありがとうございました。

ロシアブリヤート共和国第1副総理
ムヒン・フセヴォロド

祝辞



北東アジア地域自治体連合の会員自治体の皆様！

お会いできて嬉しいです。

第14代北東アジア自治体連合の議長団体であった大韓民国の蔚山広域市の経済副市長の安孝大(アン・ヒョデ)と申します。北東アジア地域自治体連合の「2024NEAR 会員自治体ワークショップ」の開催を心よりお祝い申し上げます。

蔚山広域市は2023年、「第14回総会」を成功裏に開催致しました。この場をお借りして、皆様からの積極的なご参加、ご関心に改めて感謝申し上げます。そのおかげもございまして、今日このように皆様へ歓迎の辞を述べさせていただくことになり、大変嬉しく存じます。

無限の可能性を有する北東アジアは、世界の主要な発展動力の一つであり、多様な文化と歴史的な遺産を有する地域でございます。経済、文化、政治など様々な分野において、その位相と重要性が日々高まっています。そのため、国家間の交流と共に、この地域に位置する我が北東アジアの地方政府間の交流と協力の必要性も更に増し加わっています。

その意味で、今日のように会員自治体間で、活発な政策交流とディスカッションがなされることが何より重要だと存じます。この場を通じて、NEARの6か国81会員自治体が疎通と協力を増進する様々な方案を模索し、一同が共同の発展のためにさらに一歩、歩みを進めることを期待致します。

「互惠・平等の精神で北東アジアの共同発展及び世界平和に寄与」というNEARの設立目的の基、北東アジア地方政府は、地域の繁栄と平和という夢に向かって、28年間共に歩んで参りました。大韓民国の産業首都として、過去60年間以上、大韓民国の経済を率いてきた蔚山もNEARの会員自治体として、また、国際社会の一員として、北東アジアの共同発展と繁栄のためにその役割を充実に果たしていきます。

「2024NEAR 会員自治体ワークショップ」が充実した「よき交流の場」になることを願い、今日、この場を共にしてくださった皆様のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

蔚山広域市経済副市長
安孝大

祝辞



尊敬する会員自治体の皆様、おはようございます。

ボルガン県副知事のジャルガルサイハと申します。

NEAR 会員自治体の皆様、特に世界各国及び各地方を繋ぐ架橋の役割を果たしている国際交流の関係者が集まれる会議を開催して下さった NEAR 事務局に感謝申し上げます。

そして、本日モンゴル会員自治体を代表して祝辞を述べることになり、大変嬉しく存じます。

北東アジアはすでに世界経済の重要な原動力であり、文化、歴史的遺産が豊富な地域です。したがって、国家間の関係に加えて、北東アジアの地方行政間の協力を強化する必要があります。その意味で、会員自治体間の活発な交流と議論、相互理解が何よりも重要です。

NEAR 会員自治体は「互惠と平等の原則に基づき、北東アジアの共同発展と世界平和に貢献する」という NEAR の創設目標のもと、28 年間にわたり北東アジアの地方の発展と平和のために互いに協力し合ってきました。

NEAR の 6 か国 81 会員自治体は、交流協力を拡大するためのさまざまな対策を模索し、共に歩む一歩が更なる発展につながると確信しています。

そして、ボルガン県は北東アジアの共同発展と繁栄のために共に努力し、会員自治体としての義務を果たして参ります。

最後に、会議の成功を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

ボルガン県副知事
ジャルガルサイハン

内容

<input type="checkbox"/> 行事の概要	9
・ 概要 / 日程 / 座席配置図	
<input type="checkbox"/> 議長団体の発表	13
<input type="checkbox"/> 基調演説	17
<input type="checkbox"/> NEAR 事務局業務報告	21
・ NEAR 状況紹介、2023 年主要成果、2024 年政策方向及び事業計画	
<input type="checkbox"/> 会員自治体の発表	39
① 中国	
- 湖南省(革新プラス分科委員会)	
- 内モンゴル自治区(エネルギー協力分科委員会)	
② 日本	
- 富山県(環境分科委員会の活動報告及び開催計画)	
- 島根県(教育文化交流委員会の活動報告及び開催計画)	
③ 韓国	
- 世宗市(世宗市の国際協力事業紹介)	
④ モンゴル	
- フブスグル県(フブスグル県の観光及び国際交流の現状)	
⑤ ロシア	
- 沿海地方(沿海地方の紹介)	
- イルクーツク州(イルクーツク州の紹介)	
- トムスク州(トムスク州の紹介)	
<input type="checkbox"/> 討議事項	87
<input type="checkbox"/> NEAR 及び NEAR への要求・提案事項 <input type="checkbox"/> 分科委員会活性化対策案	
<input type="checkbox"/> 参考事項	89
・ 参加者名簿 / 2024 NEAR 主要国際行事	
・ 憲章 / 分科委員会の設置及び運営に関する規定	



2024 NEAR会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

概要

- ・ 行事の概要
- ・ 行事の日程
- ・ 座席配置図

- 北東アジア地域共同発展のための交流・意見交換の場 - 2024 NEAR 会員自治体ワークショップの詳細

❖ 北東アジア地域自治体連合(NEAR)の会員自治体の共同発展のための交流・協力案模索及び会員自治体間の交流の「場」を設ける

□ 概要

- 期 間：2024年5月22日(水)~5月24日(金) / 2泊3日
- 会 場：ヒルトン慶州ホテル(韓国慶州市ポムン路484-7)一帯
- 参加対象：国内会員自治体の国際関係大使及び国内外NEAR会員自治体の担当者
- 参加人数：128名(6か国44会員自治体110人、事務局18人)

国名	小計	中国	日本	韓国	モンゴル	ロシア	準会員
参加自治体	44自治体	9	4	14	12	4	1
参加人数	110人	19人	6人	48人	27人	8人	2人

* 会員自治体オフライン参加申請状況(5月15日現在)

□ 主催・主管：北東アジア地域自治体連合(NEAR)事務局

□ 主要内容

- (事務局) 2024年主要業務推進状況及び計画報告
- (会員自治体) 主要推進事業(分科委員会開催関連など)及び政策広報事項発表
- (事務局+会員自治体) NEAR関連提案及び交流・協力事業などについて討議
- (会員自治体) 会員自治体間同士の1対1面談の時間、文化体験、産業視察など

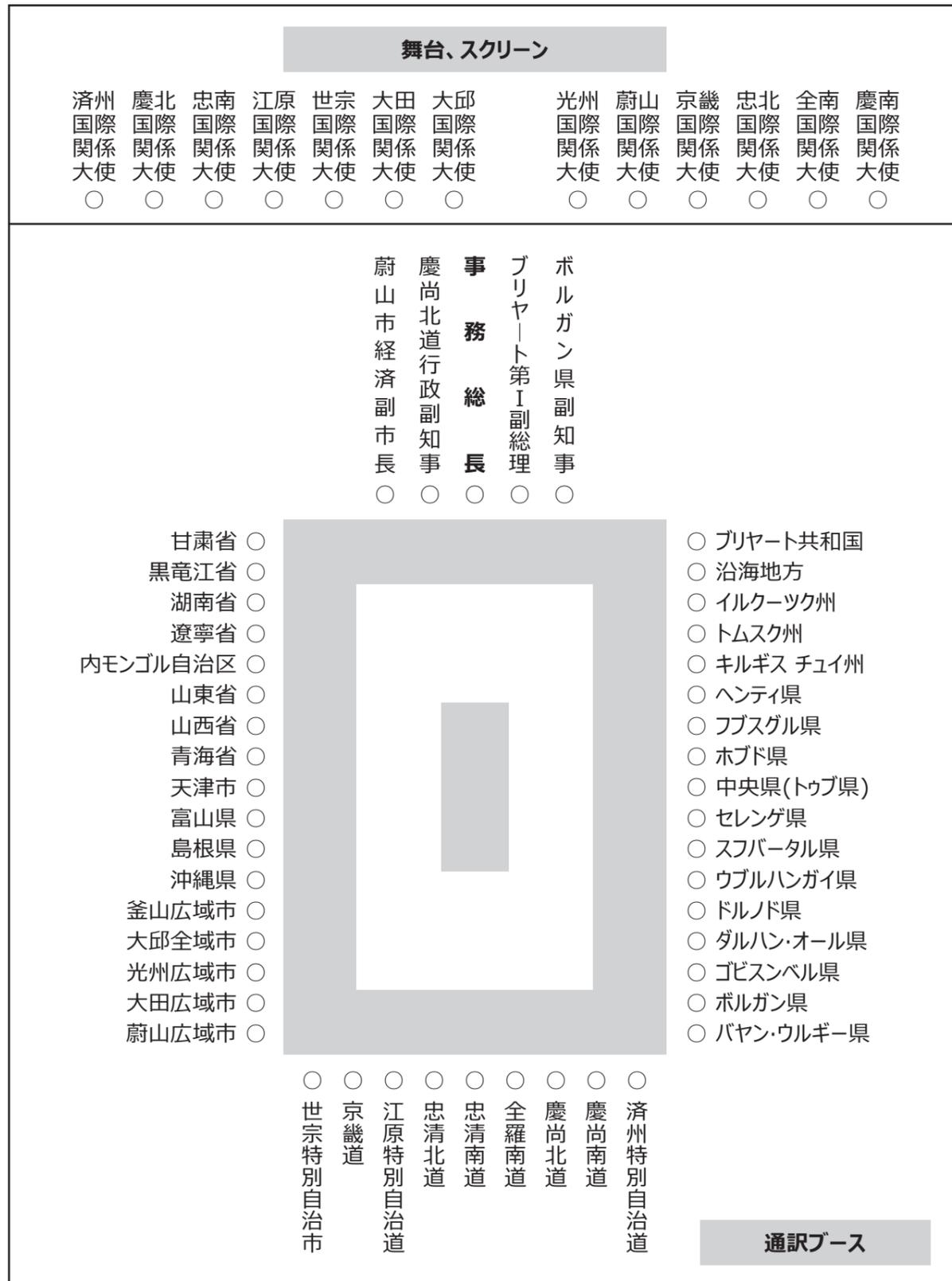
□ 日程詳細

※下記の日程は事情により変更になる場合もあります。

<1日目> 5.22(水)	~15:00		• 登録	本館ロビー(1階)
	15:00~16:40	'100	• 国際関係大使+1 懇談会	PINE ROOM(1階)
	16:40~17:30	'50	• 自由時間	
	17:30~18:30 (17:30~20:30)	'60	• (国際関係大使)事務総長主宰の晩餐会 • (会員自治体参加者)夕食	PINE ROOM(1階) JUNIPER ROOM(地下1階)
	20:00~21:30	'90	• 事務総長との国家別面談 • 文化体験(夜景ツアー)	PINE、OAK ROOM(1階) 東宮と月池(雁鴨池)
<2日目> 5.23(木)	06:30~09:00	'150	• 朝食	
	09:00~09:20	'20	• 登録	GRAND BALLROOM(1階)
	09:20~09:30	'10	• NEAR広報動画上映(英語)	
	09:30~09:45	'15	• 開会及び参加者紹介	国際協力部長
	09:45~09:50	'5	• 歓迎の辞	事務総長
	09:50~10:00	'10	• 祝辞	プリアート共和国第1副総理、 蔚山広域市経済副市長、 ボルガン県副知事
	10:00~10:05	'5	• 議長団体の発表	遼寧省外事弁公室副主任
	10:05~10:15	'10	• 基調演説	慶尚北道行政副知事
	10:15~10:25	'10	• 記念撮影	
	10:25~10:35	'10	• 休憩	
	10:35~10:45	'10	• NEAR事務局業務報告 [2024年主要業務の推進状況及び行事など]	企画広報部長
	10:45~12:00	'75	• 会員自治体の発表 [9自治体:分科委員会など推進状況、自治体の紹介など]	
	12:00~14:00	'120	• 昼食	GRAND BALLROOM(1階)
	14:00~14:45	'45	• 会議・討議 [NEAR発展及び交流・協力推進のための論議]	企画広報部長
	14:45~15:45	'60	• 親交の時間[交流希望会員自治体同士の1:1面談]	GRAND BALLROOM Aホール(1階)
15:45~16:05	'20	• 休憩及び移動の準備		
16:05~16:10	'5	• バスに乗車及び移動	貸し切りバス	
16:10~18:00	'110	• 慶州エキスポ公園観覧(慶州タワー、ソルガ美術館など)	慶州エキスポ公園	
18:00~18:30	'30	• ホテル(自由時間)		
18:30~20:00	'90	• 公式晩餐会 [オープニング舞台、晩餐会の挨拶、国家別代表の乾杯の挨拶]	国際協力部長	
20:00~20:30	'30	• 閉会及び片付け		
<3日目> 5.24(金)	06:30~08:50	'140	• 朝食及びチェックアウト	
	08:50~09:40	'50	• バスに乗車及び移動	貸し切りバス
	09:40~11:30	'110	• 文化体験(慶州) or 産業視察(浦項)	
	11:30~12:00	'30	• 移動	
	12:00~13:00	'60	• 昼食	カルビダム食堂(旧ソミン食堂)
13:00~13:30	'30	• ホテルに移動及びお見送り	貸し切りバスなど	



座席配置図



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

議長団体の発表

議長団体の発表



敬愛する会員自治体代表者の皆様、
こんにちは!

数千年の歴史を誇る世界的に有名な古都である慶州で、皆様と共にNEAR 会員自治体ワークショップに参加できますことを大変嬉しく存じます。この場で、私は遼寧省人民政府外事弁公室を代表し、NEAR事務局の暖かい歓待と細かな準備に謝意を伝え、遼寧省と北東アジアの発展のための協力に関心を持ち、支持してくださいました全ての会員自治体の皆様に心より感謝申し上げます。

わずか1カ月前、郝鵬遼寧省党書記代表団が韓国へ親善訪問をしました。今回の遼寧省党書記の韓国訪問は14年ぶりであり、コロナ渦以降初めてです。遼寧省代表団は、韓惠洙国務総理、趙兌烈外交部長官、鄭仁教産業通商資源部長官、金東兗京畿道知事など、高位級人士と次々と会合を持ち、「韓国－瀋陽週間」行事を盛大に開催しました。また、SKグループ、CJグループなどの大企業の現場を訪問し、中韓首脳が合意した重要な合意を履行し、経済、貿易、科学技術、人文科学など、様々な分野において友好交流の伝統を堅くし、相生協力を実質的に推進して参りました。韓国の各界各層から大きな関心と熱い期待を得た結果、中国を含めた国内外メディアがこれを報道し、前向きな反応を呼び起こし、中韓関係の健全な発展の促進において遼寧省が大いに貢献できたと自負しております。

次は、この場をお借りして、皆様に遼寧省の基本現況について簡略に紹介したく存じます。「共和国の長子」として知られている遼寧省は、北東アジア経済圏の中心地域に位置し、中国北東唯一の海岸及び国境隣接地域を有する、「一帯一路」の建設において重要な道という地理的メリットを有しています。産業用ロボット、CNC工作機械、航空、自動車、造船などの装備製造産業と石油化学、鉄鋼などの原材料産業が遼寧省内外で、重要な位置を占めています。遼寧は、科学及び教育資源が豊富であり、革新と活力に満ち溢れています。114大学、11国家重点研究所があり、61名の両院(中国科学院と中国工程院)の院士(最高の科学者)がいます。遼寧は、独特の文化と豊かな歴史的遺産があり、世界文化遺産6か所を有しております。2023年の遼寧省のGRDPは、前年比5.3%増加し、3兆ユアン規模を達成しました。今年第一四半期には省内指定規模以上の工業企業の付加価値が5.3%増加、固定資産投資は9.3%増加し、消費財の小売販売の総額は6.1%増加しました。このような成長傾向は、需要が継続的に増加していることを示します。

習近平国家主席は、新時代の中国北東地方の全面的な振興推進のためのシンポジウムで、次のように指示しました。「中国北東地域は、対北開放のための重要な関門であり、中国の北東アジアの地域協力強化と国内外双循環連結において北東アジアの戦略的な位置とその役割の重要性が徐々に注目されてきています。」

ここ数年間、遼寧省は北東アジアの国家との経済貿易及び文化交流を持続的に強化して参りました。特に、中国－モンゴル－ロシア経済回廊建設において積極的に参加し、ヨーロッパ、ASEAN、RCEP国家との貿易協力を加速化しました。対外開放レベルを持続的に拡大し、遼寧省の地域の影響力を継続的に増大し、ハイレベルの開放を通じて包括的な発展に期待通りの十分な成果を収めました。遼寧省は、革新と起業のための絶好の機会が与えられ所として、投資と事業の中心地として浮上しています。2023年には遼寧省の対韓国の輸出入が8.6%増加し、対ロシアとの取引は53%増加し、対モンゴルとの取引は65.2%増加しました。遼寧省は北東アジア地域協力において、大きいポテンシャルと広い開発可能スペースを有しております。

今年、北東アジア地域自治体連合の創立28周年です。この28年間、連合の会員自治体の開放と抱擁、互惠協力、相互尊重と平等の原則を堅持し、経済貿易、文化観光、環境保護、災害予防及び減少、科学技術など様々な分野において有益で実用的な協力を展開して参りました。また、地方政府間の理解と相互信頼を増進し、地域の繁栄と発展を促進するに当たり、積極的に寄与して参りました。遼寧省は、2021年8月、NEAR事務局の全面的な支援を頂き、新規会員として加入して以来、会員自治体と積極的に意見交換及び交流し、様々な分野の交流と協力において驚くほどの成果を収めました。特に、2023年に韓国蔚山広域市で開催された、「第14回NEAR総会」で、遼寧省が公式的に第15代議長団体を受任することになり、NEAR デジタル経済分科委員会を新設しました。これは、遼寧省と北東アジア地方政府が友好的な交流を強化し、互惠協力を深化できる新たなチャンスを提供します。今年4月、瀋陽市であった李樂成省長と林秉鎮事務総長との面談時の協力合意に従い、第15代NEAR議長として、地方政府の重要な責任を効果的に果たして参ります。

NEAR事務局及び会員自治体のご支援及びご支持により高品格、高品質、高いレベルのNEARの高位級実務委員会、デジタル経済分科委員会、そして第15回NEAR総会を開催して参ります。これを通じて、全ての会員自治体のためのより良い交流プラットフォームを構築し、実用的な協力を促進し、相互利益と共生の結果として良き結果を得てまいりたいと存じます。

参加者の皆様!

北東アジアは、世界で最も力動的な地域の中の一つで、高い発展ポテンシャルと様々な分野において有望な協力ビジョンを有しています。私たちは様々な危険とチャレンジに対応するため、お互いに助け合い、相互協力を促進する努力を続けて参ります。北東アジアは様々な分野の交流と協力を推進していくことで、より大きな成果を成し遂げられるものと信じます。

全ての会員自治体の信頼の支持を基に、遼寧省は連合の議長団体の「バトン」をよりよく活用し、すべて関連当事者と協力し、開放協力、互惠および共生の新たな場を展開して参ります。



NEAR Members Workshop 2024

「山海友情、天地遼寧」(遼寧省の人々は親切で、海岸と山の風景も美しいです)。北東アジアの各国、各地域及び各界の皆様が一日も早く遼寧で集まることを期待し、皆様と共に発展のチャンスをつかち合い、北東アジア地域のより良い未来を築いてまいりましょう。

ありがとうございました。

遼寧省人民政府外事弁公室副主任
康軼



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

基調演説

慶尚北道行政副知事基調演説



季節の女王5月に千年古都の都市、慶州で皆様にお会い出来ますことを大変嬉しく存じます。

NEARは、1996年、慶尚北道の慶州で北東アジアの共同発展及び交流協力のために4か国29地方政府が集い創設し、現在6か国81広域地方政府が加入した北東アジア地域における地方政府間最大多者間プラットフォームとして成長しました。

今日のこの場は、6か国44地方政府代表団110名の参加という、過去最大参加率である2024年NEAR会員自治体ワークショップで、北東アジア地域自治体連合(NEAR)会員自治体の共同発展と交流協力案を模索するために設けた意見交換の場です。

今回の行事を準備して下さった林秉鎮NEAR事務総長、事務局、ご多忙でありながらも行事に参加して下さった各国の代表団の皆様にも感謝申し上げます。

このように意味深い場をお借りして、「慶尚北道と北東アジア地方協力」というテーマで、以下の意見を共有致します。

1. 慶尚北道の現況と主要政策の紹介

慶尚北道は、大きい領の以南に位置し領南と呼ばれ、東側は東海岸、西側は忠清北道・全羅北道、南側は慶尚南道・蔚山、北側は江原道・忠清北道と隣接し、美しい自然景観、綺麗な東海など様々な潜在力と開発需要を有しています。また、新羅千年の仏教文化と神秘の伽耶文化、士人精神の儒教文化が調和した歴史深い文化遺産と豊かな観光資源を有しています。

慶尚北道は、2024年、「私たちがつくる機会、新たな慶北時代」を実現するため、低炭素グリーン成長、クリーン森林環境保存と共に地域発展のための民間誘致活性化、先端農業政策、主要産業団地開発、新空港建設などを中心に推進しており、K-韓流ブームを通じた慶尚北道観光の世界化と少子化を克服するための努力をしています。

慶尚北道が推進する主要政策を申し上げます。

50年後、慶尚北道は今の人口の20%である53万人という急減を予測し、超高齢社会に突入し、地方消滅危機に直面しています。これに対し、超少子化との戦い

を宣言！出会いのマッチング、幸せな出産、充実した子守り支援、安心住居、ワークライフバランスをとって段階別に実行課題を提案し、子どもが幸せな社会、育児をする親にとって幸せな時代を先導するためにすべての行政力を集中しています。慶尚北道は、住み心地のよい場所と充実した子守り支援が共にする、少子化を克服するモデル都市として作り上げて参ります。

これから地方が生き残る道は、民間が主導する経済へ転換し、民間と自治体が協業し、新たな投資戦略を実現することです。現在、企画財政部が総括する「地域活性化投資ファンド」を活用し、勤労者寮オフィステル、農産物流通センターなど相当部分が現在進行中であり、慶尚北道は年内に「慶尚北道民間投資活性化ファンド」をスタートさせ、大型病院、大規模スマートファーム団地など様々なプロジェクトを推進する計画です。

中南部圏物流航空中心、スマート融・複合技術を導入した慶尚北道の新空港建設について申し上げます。軍威郡召保面・義城郡比安面一帯に2030年開港を目標とし、スマート航空物流団地、航空産業クラスター、モビリティ特化住居団地組成計画を現在ステップごとに推進中です。

慶尚北道は、今年農業予算を過去最大に編成し、「農業大転換シーズン2」を推進しています。去年農業大転換推進を土台に、今年は先端化、規模化、技術革新という3つの価値を中心に先端化共同営農拡大、特化品目拡大、先導的農業者の定着化など、体系的な管理を通じて、健康な食べ物を生産する先端産業として育成していきます。

慶尚北道は、様々な文化遺産と自然環境など豊かな観光資源を基に慶尚北道の特色ある観光都市の組成、慶尚北道観光統合プラットフォーム「ツアー054」の構築、経験・滞在型、安心ウェルニース観光商品など、万全の準備をしています。天恵の自然環境と世界が認める韓流文化の中心である慶尚北道にお越し頂き、韓国を体験してみてください。

慶尚北道の推進政策に積極的に力を合わせてくださいますことをよろしくお願い申し上げます。

2. 慶尚北道とNEARの関係

NEARは、北東アジア地域の共同発展及び交流協力のために、1996年慶尚北道慶州で4か国29地方政府が集まり創設した国際機構で、現在6か国81広域地方政府が加入した北東アジア地域の地方政府間における最大多者間交流プラットフォームとして成長しました。

慶尚北道は、NEAR創立当時、初代議長を受任し、ここ慶州で総会を開催し、2004年の「第5回総会」でNEAR事務局を慶尚北道(浦項)に設置することを決定、事務局の運営費全額支援を通じて、NEARが名実共に国際機構であり、北東アジア地方政府間の多者間交流プラットフォームとして成長できるよう支援し、NEARが追及している理念である北東アジア地方政府間交流、協力を通じた共同発展及び地域平和構築に共に寄与しようとしました。

また、慶尚北道は、1998年に経済人文交流分科委員会を新設し、今まで隔年で計14回の分科委員会を開催、北東アジア地方政府間人文交流拡大、経済通商交流活性化のために努力して参りました。



NEAR Members Workshop 2024

NEARは、互惠と平等の精神を基に、経済、環境、文化、観光、農業など様々な分野の交流と協力を通じて会員自治体の共同発展と繁栄を追求しており、北東アジア地域の安定と世界の平和寄与を図っています。今年も、高位級実務委員会及び19の分科委員会、国際フォーラム、会員自治体ワークショップなどが開催される予定であり、北東アジアが直面している様々な当面の課題について解決できることを望みます。

慶尚北道は、今後NEARが北東アジア地方政府の代表的な多者間交流プラットフォームとして継続的に成長できるよう、関心を持ち支援して参ります。

3. 慶尚北道と北東アジアの地方協力

ここ数年、世界及び北東アジア情勢は国際政治における競争と対立が際立つ新たな時期を迎え、私たちに
とって新たに挑戦すべき課題となりました。これに対して地方政府間交流と協力は更に重要になり、国家間の
摩擦を最小化し、新たな協力の契機を設ける必要性も出てきています。

慶尚北道は急変する世界情勢に合わせ、グローバル慶尚北道外交のために様々な海外通商及び投資
誘致増進、交流、協力事業を推進しています。中小企業輸出振興及び外国資本投資誘致のための海外
マーケティング及び各企業に合わせた輸出インフラ支援、貿易使節団の派遣、国際展示会、輸出商談、海外
商品展、グローバルオンラインモール、輸出企業協会の活動支援、海外常設展示販売場などを通じて毎年輸
出額が増大しています。

また、グローバル文化交流協力事業推進のための在韓海外公館及び姉妹都市代表団訪問、DGIEA、
海外諮問委員協議会・道民会運営、国際会議を通じたグローバル外交力量強化を推進しています。

過去、貧困脱皮のためのセマウル運動を21世紀グローバルセマウル運動へ展開し、低開発国家及び社会主
義国家を中心とした国際地域社会開発、地域社会のセーフティネット、国民意識の先進化運動を通じて、
社会的公益に寄与しました。

慶尚北道は、NEAR事務局が所在する会員自治体で、NEAR事務局設置及び運営に寄与し、NEARを
通じて世界各国地方政府と交流、協力を推進して参りました。

慶尚北道は今後NEAR会員自治体と両者・多者間交流を積極的に推進し、北東アジアの共同繁栄と相
互信頼の形成、繁栄と平和の北東アジア共同体形成のために努力して参ります。会員自治体の皆様の積極
的な支持と協力をお願い申し上げます。

ありがとうございました。

慶尚北道行政副知事

金學弘



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

NEAR事務局業務報告

「2024NEAR会員自治体ワークショップ」 事務局主要業務報告



The Association of North East Asia Regional Governments

目次

2024年 NEAR 会員自治体ワークショップ



- I NEAR 状況紹介
- II 2023年 主要成果
- III 2024年 政策方針及び事業計画

目次

2024年 NEAR 会員自治体ワークショップ



- I NEAR 状況紹介
- II 2023年 主要成果
- III 2024年 政策方針及び事業計画

I. NEAR 状況紹介

一般状況

(会員自治体状況) 6か国 81自治体
地方政府が参加した最大地域間交流プラットフォームとして成長

1996年に開催した創立総会(慶尚北道慶州市)で
国際機構設立を満場一致で採択
2005年 慶尚北道浦項市に常設事務局を設置

会員自治体現況

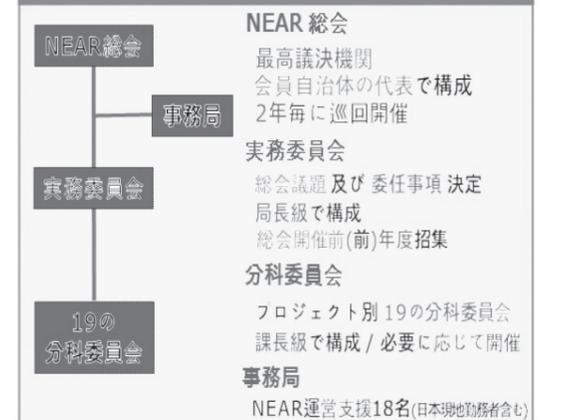


6か国 81会員自治体
中国 13、日本 11、韓国 16、
モンゴル22、ロシア 17、北朝鮮 2

準会員自治体1(ベトナムホーチミン市)/オブザーバー自治体4(中国1, 日本2, ロシア1)

組織構成

総会 - 実務委員会 - 分科委員会、事務局で構成





目次

2024年 NEAR 会員自治体ワークショップ



I NEAR 状況紹介

II 2023年 主要成果

III 2024年 政策方針及び事業計画

海洋漁業分科委員会
北東アジア円卓会議
教育文化委員会
環境分科委員会
経済人文交流分科委員会

分科委員会

- 第3回北東アジア地方協力円卓会議(2023年8月22日/中国吉林省)
- 第8回海洋漁業分科委員会(2023年9月21日～9月23日/中国山東省)
- 第21回教育文化交流分科委員会(2023年9月23日、10月21日/日本島根県)
- 第16回環境文化委員会(2023年11月14日/日本富山県)
- 第14回経済人文交流分科委員会(2023年12月7日/大韓民国慶尚北道)

The 14th NEAR General Assembly
제 14차 동북아시아지역자치단체연합(NEAR)
October 24(Tue) - 26(Thu), 2023
Ulsan, Korea

NEAR 総会

- 行事名：第14回総会
- 期間・場所：2023年10月24日～10月26日(3日間) / 蔚山広域市展示コンベンションセンターUECON
- 参加：5か国52自治体など150余名
- 主要内容：会員自治体長面談、議案議決、分科委員会報告、会員自治体発表、第14回総会宣言文発表

NEAR Working-level Workshop 2023
2023 동북아시아지역자치단체 연합 워크숍
June 28 - 30, 2023 | Gyeongju, Gyeongju-gun, Korea

NEAR 実務者ワークショップ

- 行事名：2023 NEAR 実務者ワークショップ
- 期間・場所：2023年6月28日～6月30日(3日間) / 慶尚北道慶州ラハンセルクトホテル
- 参加：5か国48自治体103余名(オフライン:32自治体75名)
- 主要内容：開会式、分科委員会発表、ディスカッション、文化体験など



NEAR 国際フォーラム

- 行事名：2023 NEAR 国際フォーラム
- 期間・場所：2023年12月6日～12月8日(3日間) / 慶尚北道慶州ラハンセレクトホテルなど
- 参加：5か国 38自治体 200余名
- テーマ・主要内容：大転換の時代、北東アジア地方政府協力案・専門家セッション、特別講演、地方政府セッション



NEAR 北東アジア青年リーダースフォーラム

- 行事名：2023北東アジア青年リーダースフォーラム
- 期間・場所(オンライン)2023年7月31日～8月11日メタバースプラットフォーム(オフライン)9月20日～9月23日慶州、浦項一帯
- 参加：200余名
- テーマ：国際交流・協力(教育、文化観光、環境、青年政策)



NEAR 第11回青少年 絵画コンテスト

- 行事名：第11回 NEAR 青少年絵画コンテスト
- テーマ・期間：祭りから見る北東アジア / 2023年3月～11月
- 参加現況：31会員自治体、計827点
- 受賞者：200名(最優秀1、優秀10、奨励20、入選169)

Ⅱ 2023年 主要成果

2024년 NEAR 会員自治体ワークショップ



1. 2023年 主要事業成果
2. NEAR 会員自治体交流活動
3. 国際機構及び関連機関交流・協力

2. 会員自治体交流活動

ア. 中国会員自治体との交流及び協力活動



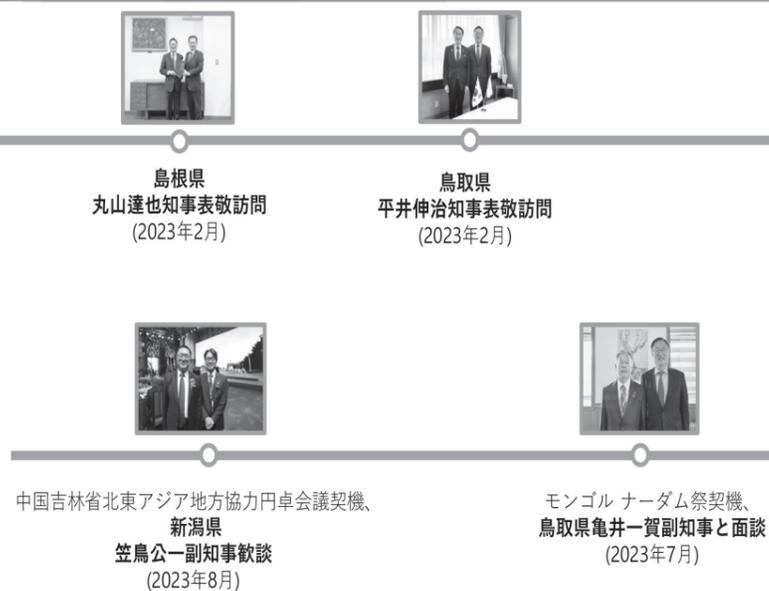
2. 会員自治体交流活動

ウ. 韓国会員自治体との交流及び協力活動



2. 会員自治体交流活動

イ. 日本会員自治体との交流及び協力活動



2. 会員自治体交流活動

エ. モンゴル会員自治体との交流及び協力活動



2. 会員自治体交流活動

オ. ロシア会員自治体との交流及び協力活動



北東アジア円卓会議契機、
沿海州 プロコプチュク・ヴァレリー 副総理歓談
(2023年8月)



ブリヤート共和国、サハ共和国、
ハバロフスク地方の代表団と面談
(2023年10月)



トムスク州
ポチョムキン・ヴァシリー副知事一行面談
(2023年10月)

2. 会員自治体との交流活動

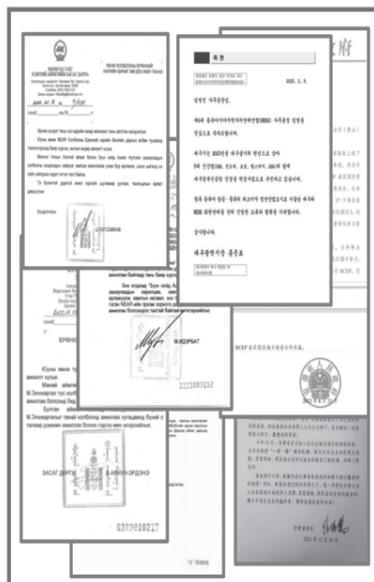
キ. 会員自治体からの行事招待状



国(会員自治体)	行事名	
中国	山西省	・2023太原エネルギー低炭素発展フォーラムへの招待
	寧夏回族自治区	・第6回カウチン実業博覧会、事務総長の祝賀(映像)の要請(オンライン参加)
	安徽省	・2023 RCEP 地方政府及び友好都市協力(黄山)フォーラムへの招待(参加)
	寧夏回族自治区	・第6回中国・アラブ諸国博覧会、第3回寧夏国際友好都市フォーラムに招待
	甘肅省	・第29回中国蘭州・投資商談会への招待状(参加)
	貴州省	・生態文明貴陽国際フォーラムへの招待状(参加)
	吉林省	・中国-北東アジア博覧会への招待
	甘肅省	・2023 一帯一路美しい村落国際フォーラムに招待
	吉林省	・第3回北東アジア地方協力円卓会議に招待(参加予定)
	甘肅省	・第6回シルクロード(敦煌)国際文化博覧会(9月5日-7日)に招待
内モンゴル自治区	・第4回中・蒙博覧会(9月6日-10日)への招待	
湖北省	・国際交流ウィーク行事に招待	
韓国	慶尚北道	・第78周年光復節記念式、第45回統一誓願祭、2023道民の日
モル	中央県	・中央県ナダム祭り開会式への招待(参加)
	アルハンガイ県	・ツェレンナドミド知事から「100周年記念行事」への招待
	ドルノゴビ県	・投資フォーラムへの招待

2. 会員自治体交流活動

カ. 会員自治体からの事務総長就任祝賀書簡



国(会員自治体)	行事名	
内モンゴル自治区	・王莉霞(WANG Lixia) 主席からの事務総長就任への祝状(2月16日)	
湖南省	・毛偉明(MAO Weiming) 省長からの事務総長就任への祝状(2月17日)	
寧夏回族自治区	・張雨甫(Zhang Yupu) 主席からの事務総長就任への祝状(2月21日)	
山東省	・周乃翔(ZHOU NAXIANG) 省長からの事務総長就任への祝状(2月21日)	
河南省	・王凱(WANG KAI) 省長からの事務総長就任への祝状(2月23日)	
安徽省	・王清憲(Wang Qingxian) 省長からの事務総長就任への祝状(2月24日)	
湖北省	・王志林(Wang Zhonglin) 省長からの事務総長就任への祝状(2月27日)	
山西省	・金湘軍(Wang Jin Xiangjun) 省長からの事務総長就任への祝状(3月2日)	
陝西省	・趙剛(Zhao Gang) 省長からの事務総長就任への祝状(3月13日)	
日本	宮城県	・村井嘉浩知事からの事務総長就任への祝状(2月28日)
韓国	大邱広域市	・洪準杓(ホン・ジュンボ)市長からの事務総長就任への祝状(2月17日)
モン	ドルノド県	・バダムスレン知事からの事務総長就任への祝状(2月9日)
	オブス県	・CH.チメド知事からの事務総長就任への祝状(2月14日)
	ハンティ県	・チャクサムザブ知事からの事務総長就任への祝状(2月16日)
ロシア	スフバートル県	・イデルバート知事からの事務総長就任への祝状(2月9日)
	イルクーツク州	・ゴゼフイゴール知事からの事務総長就任への祝状(2月20日)

II 2023年 主要成果

2024년 NEAR 会員自治体ワークショップ



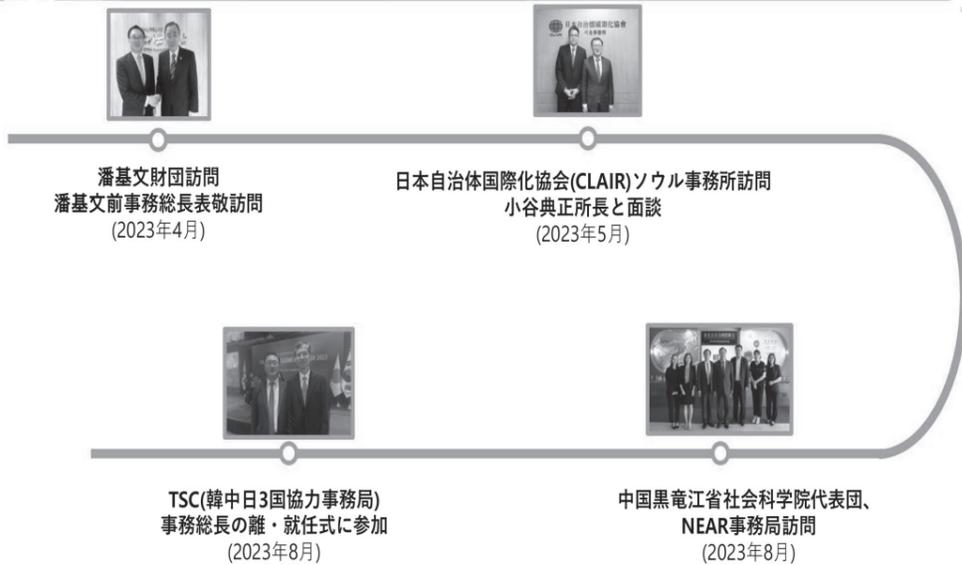
1. 2023年 主要事業成果

2. NEAR 会員自治体交流活動

3. 国際機構及び関連機関交流・協力

3. 国際機構など交流活動

ア. 国際機構及び関連機関との交流及び協力活動



3. 国際機構など交流活動

イ. 会員自治体の大使館及び領事館との交流協力活動



目次

2024年 NEAR 会員自治体ワークショップ



- I NEAR 状況紹介
- II 2023年 主要成果
- III 2024年 政策方針及び事業計画

1. 2024 業務推進方針

NEARの位相強化及び共同発展

外延拡大

北東アジア + 2 / 特別会員制を実施!

- 北東アジア + 2を通じた NEAR 外延拡大
- 北東アジアを含めて、東南アジア、中央アジアへ外延拡大
- 特別会員制設置など外延拡大の様々な変化
- 既存の正会員、準会員の他、特別会員制設置、外延拡大の様々な変化
- 外延拡大の様々な変化のための新規事業を推進
- 会員自治体の協力強化のための業務発掘支援

充実化

北東アジア地方政府間交流の懸け橋の役割の充実化!

- 会員自治体交流協力の場の活性化
- 高位級から実務者まで交流の場の活性化
- 地方政府の未来のための交流の場を実施
- 地方政府の未来を率いる若者のための交流の場
- 積極的なNEAR活動展開及び広報
- 名誉広報大使運営、HPオンライン広報、年次報告書など

2. 2024 推進状況

2024年 事務総長、中国及びモンゴル訪問報告

第15代NEAR議長表敬訪問

李楽成 NEAR 議長(遼寧省省長) 表敬訪問

今年度
活動方向
及び
主要事業
説明



北東アジア
地方政府
交流協力
活性化期待

モンゴル会員自治体長懇談会

事務総長 - 9モンゴル会員自治体長懇談会開催



3. 2024 事業推進計画

ア. NEAR 会員自治体間実質的交流協力増進

(2024.5.) 2024 国際関係大使+1 懇談会

- 期間・場所：2024. 5. 22. ~ 5. 23. / 慶尚北道慶州市
- 参加：40余名(国際会員自治体の国際関係大使、実務者など)
- テーマ：NEARを通じた地方外交のための活性化方案



(2024. 5.) 2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

- 期間・場所：2024. 5. 22 ~ 5. 24. / 慶尚北道慶州市
- 参加：6か国45自治体 111名
- 主要内容：会員自治体政策広報、ディスカッション、交流・意見交換など



3. 2024 事業推進計画

ア. NEAR 会員自治体間実質的交流協力増進

(2024. 6.) 2024 NEAR 会員自治体研修プログラム運営

- 日時 / 場所：2024年6月26日 ~ 7月5日 / 嶺南大学一帯(慶尚北道慶山市)
- 参加人数：会員自治体の公務員15名
- 主要内容：研修プログラムの運営(講義 + 現地学習)



(2024. 7.) 第1回 エネルギー協力分科委員会

- 期間：2024年7月(詳細は未定)
- 場所：中国内モンゴル自治区

(2024. 8.) 第22回 教育文化交流分科委員会

- 期間：2024年8月(詳細は未定)
- 場所：日本島根県

3. 2024 事業推進計画

ア. NEAR 会員自治体間実質的交流協力増進

(2024. 9.) 「NEAR DAY」開催

- 日時 / 場所：2024年9月(詳細は未定) / 韓国慶尚北道浦項市
- 参加対象：100名程度(国内高位級関係者など)
- 主要内容：開会式、看板除幕式、付帯行事など

(2024. 10.) 第1回 革新プラス分科委員会

- 期間：2024年10月(詳細は未定)
- 場所：中国湖南省

(2024. 10.) 第1回 デジタル経済分科委員会

- 期間：2024年10月(詳細は未定)
- 場所：中国遼寧省

3. 2024 事業推進計画

ア. NEAR 会員自治体間実質的な交流協力増進

(2024. 10.) 「第14回NEAR高位級実務委員会」開催支援

- 日時 / 場所 : 2024年10月(詳細は未定) / 中国遼寧省瀋陽市
- 参加人数 : 100 ~ 150名(会員自治体別局長級以上の幹部実務者など)
- 主要内容 : 開会式、新規(準)会員、特別会員加入、連合憲章改正など



(2024. 11.) 「2024 国際フォーラム」開催

- 日時 / 場所 : 2024年11月(詳細は未定) / 韓国慶尚北道浦項市(予定)
- 参加人数 : 100余名(専門家、会員自治体、関係機関など)
- 主要内容 : テーマ発表、ディスカッション(専門家セッション)、会員自治体政策広報(地方政府セッション)など



3. 2024 事業推進計画

イ. 次世代青年交流強化

(2024. 3 ~ 11.) 「第12回 NEAR 青少年絵画コンテスト」開催

- 時期 : 2024年3月 ~ 11月
- 対象 : 満12歳 ~ 18歳青少年を対象
- テーマ : 我が地域、我が国の神話



(2024. 8.) 「2024 NEAR 青年リーダーズフォーラム」開催

- 日時 / 場所 : 2024年8月4日 ~ 8月10日 / 慶尚北道浦項市(韓東大学)
- 参加人数 : 30 ~ 50名
- テーマ / 主要内容 : 一つになる私たち、繁栄する北東アジア/ディスカッション、交流・意見交換の時間など



3. 2024 事業推進計画

ウ. 連合の国際的位相強化

新規会員・準会員加入推進

- (新規会員) 中国青海省、天津市、河北省 / 日本沖縄県
- (準会員) キルギス共和国チュイ州 / ミャンマーヤンゴン州 / カンボジア プノンペン
- ※ (成果) 会員加入自治体 : ('18.10.29.) 日本秋田県 / ('21.08.10.) 中国遼寧省 ('23.10.25.) ロシア アルタイ共和国、中国甘肅省
準会員自治体 : ('17.09.26.) ベトナム ホーチミン市

その他の国際機構とネットワーク強化

- 推進対象機構 : TCS(Trilateral Cooperation Secretariat)事務局、ACCアジア文化協議会など
- ※ 国際機構業務協約(MOU) 締結状況
- ('12.10.12) 欧州自治体連合(AER) / ('14.08.28) 気候変化行動連合(R20) / ('16.06.16.) 世界地方政府機構(ICLEI)



3. 2024 事業推進計画

エ. 積極的な広報活動を展開

NEARウェブサイトを通じた会員自治体広報強化

- (会員自治体ニュース) 会員自治体の国際交流動向など常時アップロード
- (会員自治体PR) 会員自治体の主要施策、国際行事、観光など広報資料を常時アップロード
- ※ ウェブサイト(www.neargov.org) : [会員自治体PR]-[会員自治体ニュース]-[会員自治体PR] カテゴリ活用



「NEAR 年次報告書」発刊

- 6か国語(韓・英・中・日・蒙・露), 1,000部発刊
- 総会、国際フォーラム、実務者ワークショップ、分科委員会などの活動事項など





事務局は北東アジア地域の
相互共同繁栄と発展のためにNEAR会員自治体と
常に共にあります。



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

会員自治体の発表及び広報

【発表】

中国

- 湖南省(革新プラス分科委員会)
- 内モンゴル自治区(エネルギー協力分科委員会)

日本

- 富山県(環境分科委員会の活動報告及び開催計画)
- 島根県(教育文化交流委員会の活動報告及び開催計画)

韓国

- 世宗市(世宗市の国際協力事業紹介)

モンゴル

- フブスグル県(フブスグル県の観光及び国際交流の現状)

ロシア

- 沿海地方(沿海地方の紹介)
- イルクーツク州(イルクーツク州の紹介)
- トムスク州(トムスク州の紹介)

湖南と北東アジア、革新と共有

湖南人民対外友好協会秘書長兼外事弁公室主任
陳筱敏

敬愛する林秉鎮事務総長、

敬愛する代表者、参加者の皆様！

こんにちは。

中国湖南省を代表し、今回北東アジア地方自治体のワークショップに参加できたことを大変光栄に存じます。まず、今回の行事を主催して下さった関係者の皆様並びに会議に参加して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

湖南は、新中国の創健者である毛沢東の故郷で知られています。洞庭湖の南側に位置し、「湖南」と呼ばれています。短くして「湘」とも呼びます。湖南省は「8,9,10」で要約されます。「8」は、総人口が7,300万名を超え、全国で8位を占めることを意味します。「9」は、2023年GRDPが、5兆ユアンを超え、全国で9位を占めることを意味します。最後に「10」は、湖南の面積が211,800平方キロメートルで全国で10位を占めることを意味します。かつてから、湖南の人々は革新を通じて、絶えなく発展を追求して参りました。この地域は、製紙技術の発祥地として人類の文明に寄与して参りました。また、世界の食べ物の伝説を創造した雑種稲(ハイブリット稲)の発祥地として知られており、貧困緩和の発祥地として世界的に重要な役割を果たして参りました。また、湘刺繍、柳陽花火、醴陵陶芸など湖南の優秀な製品が世界的に知られています。中国の高速鉄道機関車も湖南で生産されます。省都の所在地である長沙は、世界のエンジニアリング機械の中心であり、世界のメディア芸術の中心であり、東アジアの文化の中心であります。

数年に渡って、湖南自身は、自分の優勢を十分に発揮し、北東アジアを含めた世界各国と経済貿易投資、人文交流などの方面において積極的に協力し、一定の成果を収めました。2017年から2018年まで湖南省は、議長団を受任し、NEAR事務局と会員自治体の支援で「第11回NEAR実務委員会及び国際フォーラム」、「第12回NEAR総会」などの行事を成功裏に開催し、経済貿易、科学技術、教育、文化、交通、観光、防災、環境保護などの分野において、会員自治体間の実務的協力を促進して参りました。2018年10月、「第12回NEAR総会」で、湖南省をコーディネートとする「革新＋分科委員会」新設を可決しました。2020年には、創設会議及び初めての「革新＋」分科委員会を開催する計画でありましたが、コロナ渦でやむを得ず、延期することにしました。

湖南省及び北東アジア会員自治体の地方政府間の交流と協力を更に促進し、文化交流規模を拡大し、国民の理解と友好を増進するために連合の憲章に従い、我が省では今年10月中下旬に張家界で「革新＋」分科委員会創立大会及びグリーン発展を開催する予定です。今回の会議は、湖南省政府とNEARが共同で

主催し、3日間行われます。また、同期間中に「生態文明と観光資源の持続可能な発展実務経験共有セッション」と「第6回アジア－ヨーロッパ都市管理シンポジウム及び技術革新の実務事例共有専門セッション」が並行し、開催されます。こちらに対しては、NEAR事務総長と事務局関係者、81会員自治体の代表者、水資源、生態環境保護、観光分野専門家、産業界、マスコミ界の代表者を招待いたします。慣例に従い、湖南省は、各会員自治体の代表者2名の宿泊及び現地視察費用を支援いたします。

張家界は、湖南の真珠であり、独特な自然風景と豊かな文化資源で世界的に有名です。張家界の天門山、武陵源などの観光地は、全世界から観光客を惹きつけており、彼らの独特な風習も人々に深い印象を与えてくれます。「革新＋グリーン開発」分野において湖南の業績とビジョンを示す為、この美しい都市で「革新＋」分科委員会を開催することといたしました。NEAR会員自治体の代表者は、湖南省と張家界市の魅力と活力を深く感じると信じます。また、革新＋グリーン発展分野において皆様と協力可能性を模索し、北東アジアの繁栄と発展を共同で推進していくことを期待致します。

最後に、張家界で開催される「革新＋分科委員会創立大会及びグリーン発展会議」で会員自治体の代表者の積極的なご参加を心よりお願い申し上げ、これを通じて北東アジア地域のグリーン発展と革新的な協力において知恵と力を共に寄与したいと存じます。今回の行事の成功と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

ありがとうございました！

内モンゴル自治区の紹介

内モンゴル自治区人民政府外事弁公室

李曄林

敬愛する林秉鎮事務総長、この場を共にしてくださいました会員自治体代表の皆様、

こんにちは！2024年皆様と共に慶州でNEAR会員自治体ワークショップを開催出来ますことを、大変嬉しく存じます。まず、内モンゴル自治区人民政府外事弁公室を代表し、このような交流の機会を設けてくださいましたNEAR事務局に、心より感謝申し上げます。

去年10月、「第14回NEAR総会」で、北東アジア地方自治体の代表が集まり、内モンゴル自治区エネルギー協力分科委員会の新設を可決し、内モンゴル自治区政府は、今年度第1回エネルギー協力分科委員会の会議を開催する予定でございます。会員加入している各地方政府を招待し、エネルギー産業の発展と未来の動向を話し合い、共同発展のチャンスを共有したいと存じます。

内モンゴル自治区は、中国北部地域に位置していて、面積が最も広く、多様な生態機能を有した地域で、豊富なエネルギー資源を有し、中国の重要なエネルギー及び戦略資源基地であります。中国の中で再生エネルギー資源の品質と規模面において最高水準を誇り、風力と太陽光資源は各々中国全体の57%と20%を占めます。また、石炭、希土類など21種の鉱物資源の埋蔵量は、全国1位を記録しています。2023年には、石炭生産量が12億2千万トン記録し、石炭供給の保障と納品量の達成、総電力設備容量は2億kWを超過し、総電力設備容量及び新規設備容量、新エネルギー総設置容量及び新規設置容量、総発電量と電力供給量、新エネルギー発電量、そして石炭からガスへの生産抽出能力など、「10の分野において全国1位」に達し、中国の29省のエネルギー需要を満たすことができました。内モンゴル自治区は電力設置容量が1億kWを超える中国最初の省です。ここで世界最大規模の単一機器陸上風力発電プロジェクト及び国内最大の太陽光の単一機器を活用した砂漠化防止プロジェクト保有、世界最初の低圧個体水素貯蔵生産ラインなどがあります。因みに、風力及び太陽光水素貯蔵設備製造の産業費用は2,762憶ユアンに達します。現代の石炭化学産業の付加価値は15.4%増加し、世界2位規模のエチレングリコール及びオレフィン生産能力を有した内モンゴル自治区自治区から世界最大規模のグリーン水素結合CTO(石炭からオレフィンを製造する工程)プロジェクトが着工しました。

内モンゴル自治区は「2023世界新再生エネルギー新素材大会」、「中国(内モンゴル自治区)水素エネルギーフォーラム及び技術応用展示会」、「第1回中国(通遼)グリーン投資大会」、国際水素大会など、様々な国際行事を成功裏に開催し、世界各国のエネルギー開発及び応用分野からの協力により多くの成果を収めました。

エネルギー協力分科委員会の第1回の会議では各会員自治体のエネルギー開発現況と成果、方向、協力要求事項などを重点的に話し合い、エネルギー分野の円滑な協力と発展のための新たな道を共に模索していく

予定であり、会員自治体所在の国家及び主要都市においてエネルギー産業の発展の優位性を発掘し、エネルギー産業の協力発展を促進したいと存じます。NEAR会員自治体代表と関連国家政府指導者を招待し、エネルギー産業において環境に優しいエネルギー化及び高品質発展に焦点を当てる予定です。

内モンゴル自治区は、エネルギーの「宝庫」であり、「羊、石炭、希土、ガス資源」が豊富であり、「何より美しい風景」を有しています。内モンゴル自治区は「石炭を金へ変える」こともでき、「風と太陽を追う(*風力及び太陽光資源の意味)」は、エネルギー開発のための「肥沃な土地」であります。内モンゴル自治区は、この場で「第1回エネルギー協力分科委員会」へ全ての会員自治体を招待し、交流と協力に参加し、北東アジア域内エネルギー協力強化のために積極的に努力いたします。

最後に今回の「2024NEAR会員自治体ワークショップ」の開催の成功を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

北東アジア地域自治体連合 (NEAR) 環境分科委員会の活動報告及び計画について

富山県

① 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業

○北東アジア地域の青少年が集まり、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を体験する。国際交流を通じてこの地域の環境保全に取り組む人材を育成するもの。

期 間：2024年 8月
 開催方法：オンライン形式（ロシアトムスク州及び日本富山県主催）
 内 容：各参加自治体の代表者による活動発表、環境保全に関するクイズ大会、リサイクル&アップサイクル作品制作 など

＜2023年度実績：5 か国10自治体から中高生51名が参加＞

活動発表

参加者間の交流

NEAR環境分科委員会

◆ 北東アジア地域の環境保全対策を推進するため、日・中・韓・蒙・露の自治体が参加し、各国自治体間の連携による個別プロジェクトの検討・成果報告や相互の情報交換を実施(第16回委員会は2023年11月14日(火)に富山県がオンラインで開催)

個別プロジェクトの実施状況 (2024年4月～2025年3月)

- 1 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 (提案:ロシアトムスク州、富山県)
- 2 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業 (提案:富山県)
- 3 北東アジア地域環境ポスター展 (提案:富山県)
- 4 海岸生物調査 (提案:富山県)
- 5 貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム (提案:韓国忠清南道)
- 6 フォトコンテスト「Eco-selfie – 自撮りで環境保護」(提案:ロシアトムスク州)
- 7 北東アジア地域生物季節調査 (提案:富山県)
- 8 河川でのバイオモニタリング (提案:ロシア沿海地方)

② 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業

○漂着物・ごみ問題についての理解を深めるため、海岸漂着物の調査活動や発生抑制対策に関する学習会、漂着物を利用したアート作品の制作を実施するもの。

期 間：2024年9～11月（漂着物調査）、7～11月（アート制作）
 場 所：北東アジア地域の海岸等
 内 容：・海辺の漂着物を回収・分別し、種類別の個数・重量を調査
 ・漂着物を利用したアート作品を制作

＜2023年度実績：3 か国15自治体の43海岸で調査実施＞

漂着物調査の実施風景

アート制作

44

45

NEAR

③ 北東アジア地域環境ポスター展

○ 子供たちから募集した「環境の保全」をテーマとしたポスターの優秀作品を展示し、環境保全意識を高める機会とするもの。

内 容：北東アジア地域の各自治体から子供たちからポスターを募集
優秀作品を展示

- ・ 時 期：2024年10月
- ・ 場 所：日本富山県

< 2023年度実績：3か国7自治体の54作品を展示 >



ポスター展の開催風景

5

NEAR

⑤ 貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム

○ 海藻、貝類等の海洋の生物が吸収・固定する炭素（ブルーカーボン）について学習し、沿岸生態系環境保全の重要性についての理解を深めるもの。

期 間：2024年6～12月

場 所：北東アジア地域の海岸等

内 容：稚貝を飼育又は放流して成長後に採取するなど、その成長量から固定した炭素量の推定などを実施

< 2023年度実績：3か国3自治体 >



ブルーカーボンに関する座学の様子

7

NEAR

④ 海岸生物調査

○ 海の生物への興味の深化、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図るため、各地域で生物の調査を実施するもの。

期 間：2024年7～9月

場 所：北東アジア地域の海岸

内 容：海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録する。また、地球温暖化に係る指標生物（スナガ二等）の存否を確認

< 2023年度実績：3か国8自治体で調査実施 >



調査の実施風景

6

NEAR

⑥ フォトコンテスト「Eco-selfie – 自撮りで環境保護」

○ 環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成するもの。

期 間：2024年4～12月

内 容：ロシア・トムスク州が植林・清掃活動、エコライフ実践等の様子を写した写真を募集し、優れたものを表彰

< 2023年度実績：4か国10自治体 >



入賞作品

8



⑦北東アジア地域生物季節調査

○脱炭素社会への意識醸成を図るため、気候変動の影響を身近に感じることができる生物季節調査や学習会を実施するもの。

期 間：2024年5～12月

場 所：北東アジア地域の生活圏

内 容：生物季節調査の実施、
気候変動の影響や対策に関する学習会の実施

<2023年度実績：3か国4自治体>

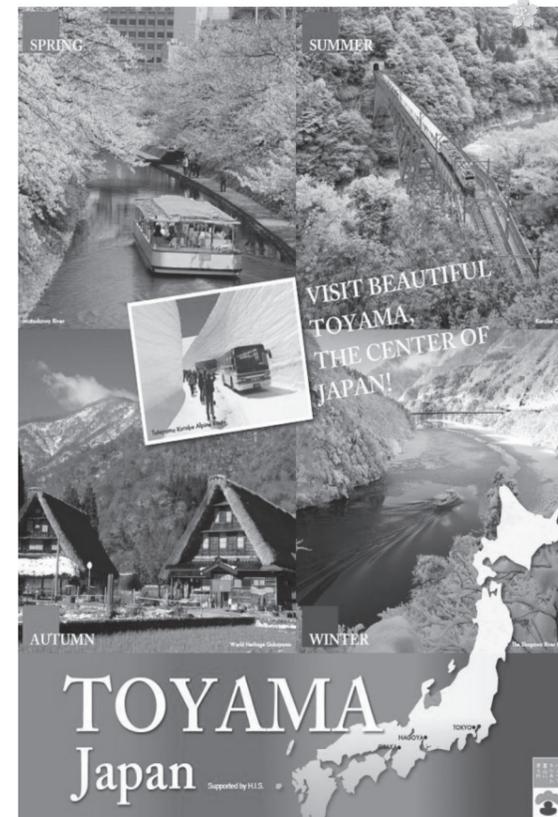


生物指標（アジサイ）の調査



気候変動に関する学習会

9



ご清聴
ありがとうございました。



11



⑧河川でのバイオモニタリング

○北東アジア地域の河川の水質を評価するとともに環境教育の推進を図るため、小中高生及びボランティアの参加・協力を得て、北東アジア地域で共通のバイオモニタリングの実施及び評価の方法を開発するもの。

期 間：2024年10月

場 所：北東アジア地域の河川

内 容：水生生物の採集及び河川水質の評価

<2023年度実績：2か国4自治体>



指標となる水生生物の調査・観察の様子

各事業の詳細は、環日本海環境協力センターのウェブサイトをご覧ください。

URL：<https://www.npec.or.jp/>

10



～2024NEAR会員自治体ワークショップ発表資料～

2023 北東アジア交流の翼inしまね

- 第1回：2023年9月2日（土）
- 第2回：2023年9月23日（土）
- 第3回：2023年10月21日（土）



島根県環境生活部
文化国際課

1



プログラムの概要

(1) 目的

北東アジア地域の青年が島根県に集い、様々な交流を通じて相互理解と友好を深め、将来につながるネットワークを築く。

(2) 開催日程・内容

	日程	内容
第1回	9月2日（土）	開会セレモニー、自己紹介、交流活動
第2回	9月23日（土）	松江市内散策と伝統文化体験 （日本の着物を着て散策、抹茶体験）
第3回	10月21日（土）	ネイチャートレッキング、昼食会、草木染め体験 ＜テーマ＞森林理解

2



参加メンバー

外国青年21人、島根青年7人の計28人の青年が参加

外国青年	人数	島根青年	人数
ベトナム	3名	島根大学等	7名
マレーシア	1名		
インド	2名		
中国	6名		
韓国	1名		
ミャンマー	1名		
ブラジル	3名		
アメリカ	2名		
欧州	2名		



3



交流プログラム 1 回目

【第1回:9月2日】

開会セレモニー



NEAR事務総長より、動画メッセージにて、青年を激励



自己紹介



交流活動

風船バレー



円陣組んで団結



4



交流プログラム 2 回目

【第2回: 9月23日】

(1)プログラム概要

- ◆日本の着物を着て街歩き
- ◆チェックポイントで記念撮影
- ◆抹茶体験

(2)場所

松江市内散策・飲食店（そば店、喫茶店）

5



交流プログラム 3 回目

【第3回: 10月21日】

(1)プログラム概要

- ◆昼食準備（竹筒ごはんの準備）、竹箸づくり
- ◆講義（森林、環境の説明）
- ◆昼食（竹筒ごはん、カレーor豆腐ソース）
- ◆ネイチャートレイリング
- ◆草木染め体験

(2)場所

宍道ふるさと森林公園

7



交流プログラム 2 回目

【第2回: 9月23日】

プログラム説明



街歩きの様子



抹茶体験の様子



6



昼食準備

【第3回: 10月21日】

竹筒ごはんの準備



竹箸づくり



8

講義（森林・環境の説明）

【第3回: 10月21日】



9

昼食

【第3回: 10月21日】



10

ネイチャートレッキング（森林散策）

【第3回: 10月21日】

森林公園内を散策しながら、森林のしくみ・森林の役割・森林の育て方などについて理解を深めるとともに、里山資源の有効活用による循環型社会の構築について学習



クイズを解きながら森林公園内を散策

11

日本文化体験（草木染め体験）

【第3回: 10月21日】

クルミの実の皮で染色。自然の素材を使い自然環境を学ぶ機会に。



12



閉会

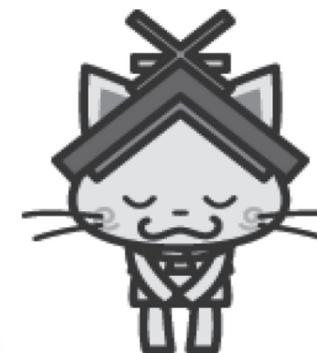
【第3回: 10月21日】

See You Soon!!



13

ご清聴
ありがとう
ございました。



15



2024交流の翼inしまね（予定）

(1)対象者

中国、韓国から来県する外国青年
島根県在住の日本青年

(2)日時・場所

2024年8月21日(水)～26日(月)
松江市内

※ 6～8月事前研修あり（3回）

14



グローバル世宗
ナラマルサミ(国の言葉が)世界に届け

Washington D.C. Sofia SEJONG CITY

글로벌 세종
나라말싸미 세계에 닿아

2024. 5. 23.
世宗特別自治市国際協力チーム長 チェ・ヤンス

SEJONG CITY

Ultra Korea Sejong

GLOBAL SEJONG

SEJONG CITY

CONTENTS

- △ ULTRA KOREA SEJONG
- BE REMARKABLE! BE THE FIRST!
- SPREAD ナラマルサミ WORLDWIDE

SEJONG CITY

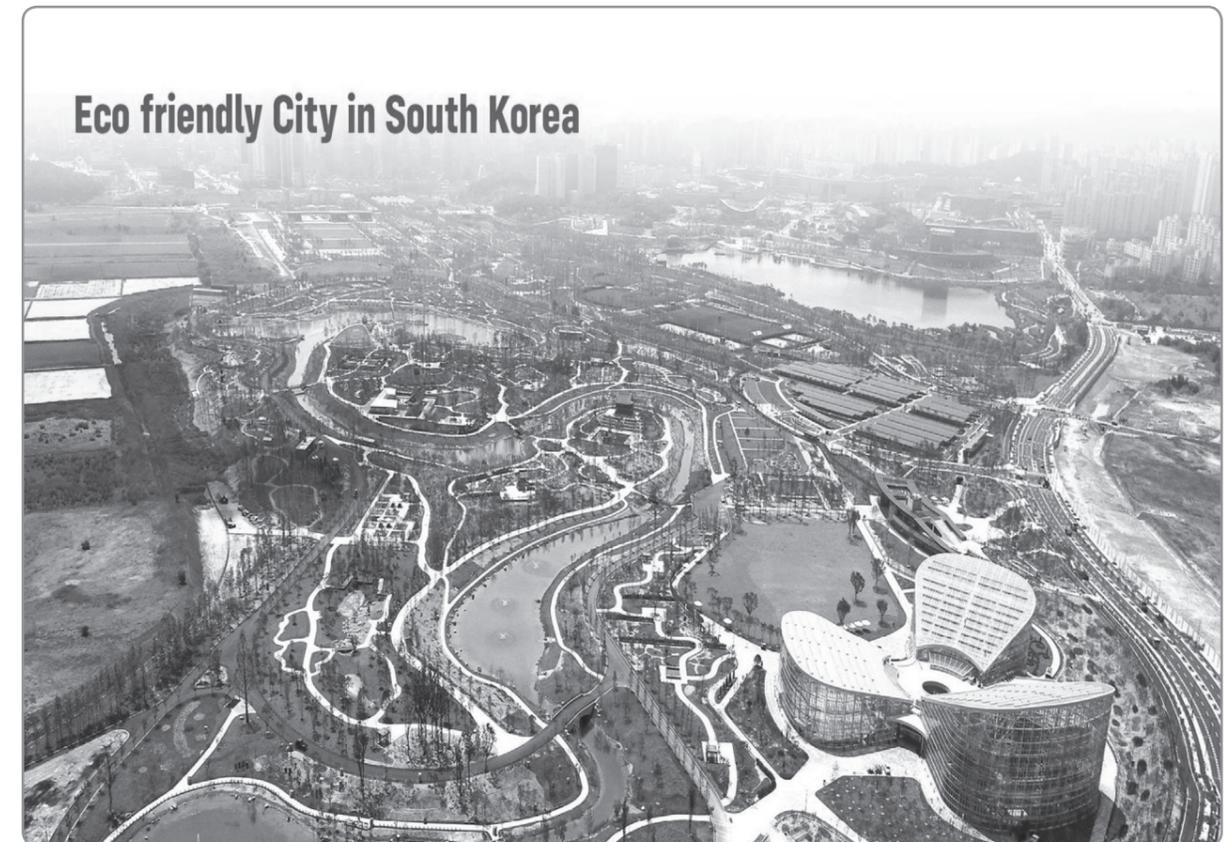
未来戦略首都 世宗の機会と挑戦

機会の都市

実験の都市

挑戦の都市

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread ナラマルサミ Worldwide



世宗市友好都市の状況

Direction	City	Distance (km)
North (N)	Sofia	8,181
	Beijing	12,359
	Almaty	6,718
	Washington D.C.	1,138
South (S)	Pyongyang	4,598
	Seoul	10,000
	Yokohama	1,000
	Osaka	1,000
East (E)	Chengde	8,286
	Brasilia	17,443
	Yokohama	1,000
	Osaka	1,000
West (W)	Urumqi	7,843
	Urumqi	7,843
	Urumqi	7,843
	Urumqi	7,843

友好都市締結状況

- 2015年 中国 陝西省
- 2016年 中国 貴州省
- 2017年 マレーシア ブトラジャヤ
- 2018年 トルコ アンカラ
- 2022年 ブルガリア ソフィア
- 2023年 イギリス 北アイルランド ベルファスト

外国首都との交流状況

- 2017年 ブラジル ブラジリア協力
パキスタン イスラマバード協力
- 2017年 オーストラリア キャンベラ 訪問
- 2023年 アメリカ ワシントンD.C. 訪問

SEJONG CITY

「世宗市国際協力4年の成果」

外国語支援団 新規事業 '22年以前: 80人 '23年以降: 80人	友好都市協約締結 新規事業 去る10年: 4件 最近の2年: 6件	外国公務員視察 新規事業 '23年以前: 45カ国 '23年以降: 56人	国際協力協業体系構築 新規事業 '23年以前: 14機関 '23年以降: 14機関
文化青少年交流 新規事業 '22年: 1件 '23年以降: 3件	海外公務員招待研修 新規事業 '20年以前: 1人 '23年以降: 6人	ご来客への記念品 新規事業 '23年以前: 200個 '23年以降: サンプル制作	国際会議での発表 新規事業 '22年以前: 3件 '22年以降: 3件

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread **ナラマルサミ** Worldwide

SEJONG CITY

Be Remarkable! Be the First!

SEJONG CITY

Be Remarkable! Be the First!

Be Remarkable!

1. 韓国-ブルガリア固有文字創製局協業を通じた「隠された文字」展示会誘致
2. 参加型国際化施策推進で友好交流促進
3. 友好協力国に対する積極的な対応で友好関係促進

Be the First!

1. 地方政府主導による初の中央行政機関との協業を通じて国際交流活性化
2. 韓国初友好協力都市協約締結及び交流
3. 外国地方公務員招待研修(K2H)プログラム研修生世宗市発足以来初招待

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread **ナラマルサミ** Worldwide

01. 固有文字創製局協業
隠された文字展示会誘致

展示期間
'22. 12. 13 ~ '23. 2. 5. 45日間

展示会場
世宗市立図書館展示室

展示内容
デザインベンチ、メディアアート、文字体験ブロックなど

主要成果
63,177人訪問、両国文化交流基盤構築及び友好関係強化、双方向文化外交など

□ Be Remarkable! Be the First!

02. 参加型国際化施策推進で友好交流促進

第1~2期 外国語支援団構成・運営
'23.1~ / 外国語能力優秀者80人
年間154人 通訳・行事支援

全職員が参加する海外公務員視察プログラム
国際交流協力窓口事前募集 + 行事支援

主要成果
友好都市拡大に貢献
通訳費用削減
文化多様性体験
国際化マインド啓発

□ Be Remarkable! Be the First!



04. 地方政府主導による初の中央行政機関との協業を通じて国際交流活性化

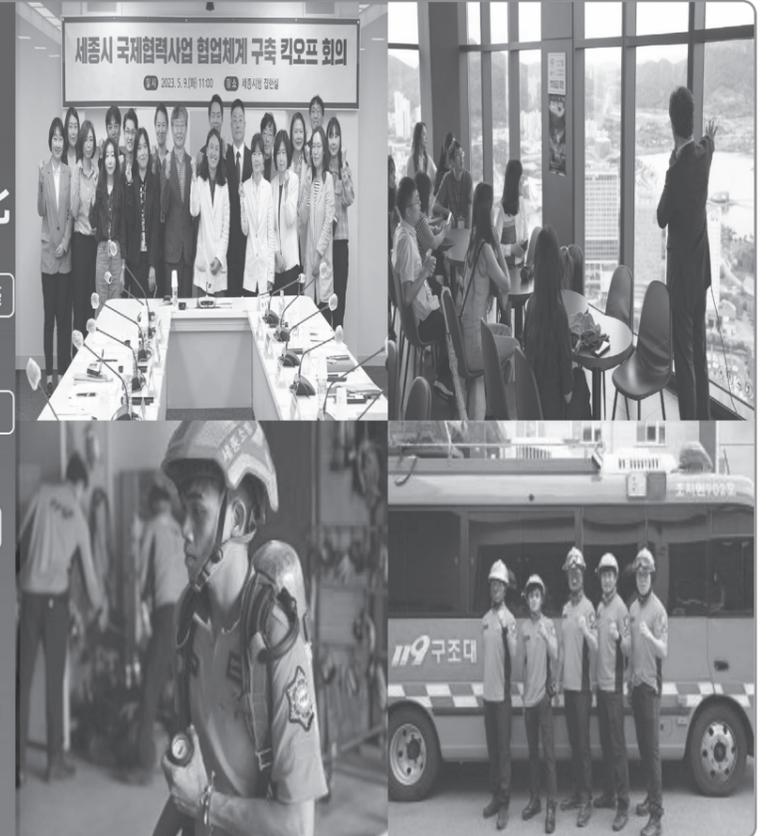
地方政府主導による初の国際協力事業協業体系構築
14機関参加 / 実務協議会2回運営

海外公務員研修プログラム初誘致で地域経済活性化
45か国 546人、1,363百万ウォン経済効果

国内最初 中央消防学校連携 国際化研修事業実施
カンボジア5人招待研修

世宗市初の国際機構
(ユネスコ世界文化遺産解析センター)誘致
世宗市-外交部-行政中心複合都市建設庁-文化財庁協業

□ Be Remarkable! Be the First!



03. 友好協力国に対する積極的な対応で友好関係促進

トルコ地震被害への先制的な支援

支援時期: 2023年2月
支援内容: お見舞いの手紙、寄付金、支援物提供

友好協力国ブルガリア世界スカウト
ジャンボリー-隊員世宗の招待で友好促進

招待機関: '23. 8. 8. ~ 8. 12.
招待人数: ブルガリア隊員37人
主要成果: 市行政能力立証、危機克服民官協力強化、
対外広報効果向上、友好都市信頼向上

□ Be Remarkable! Be the First!



05. 韓国初 友好協力都市協約締結及び交流

ブルガリア首都ソフィア市と協力

友好協力都市協約締結('22.11)
文化交流、青少年交流、企業交流、大学交流
シンボル事業(友好都市庭園)及び姉妹都市締結合意('24.3.)

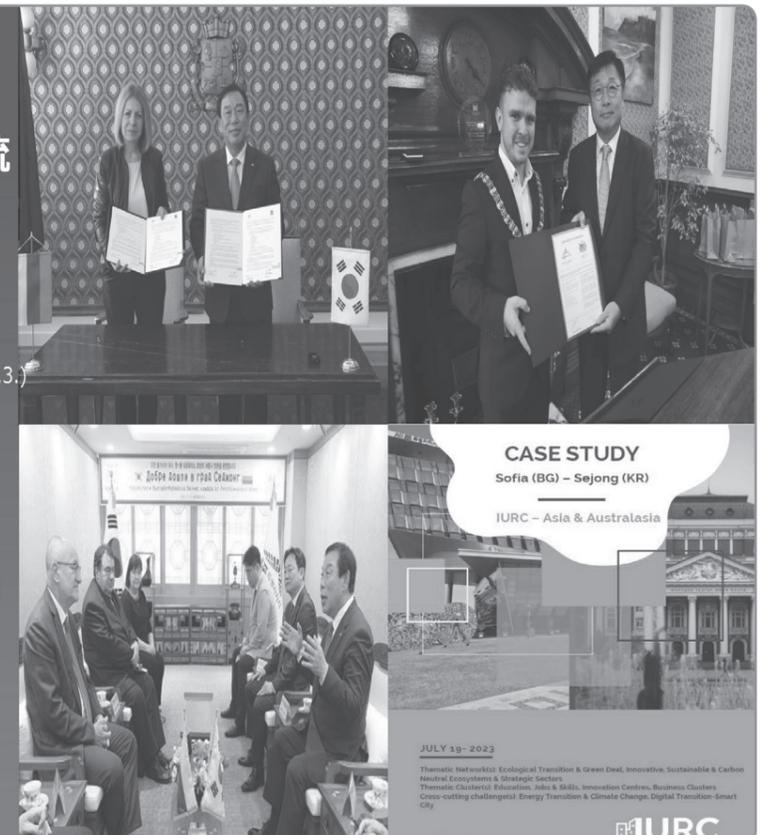
欧州連合都市間協力(IURC)プログラム
優秀交流都市に選定

'22. 11. 8. IURC グローバルセミナーで事例発表

イギリス北アイルランド首都ベルファスト市との協力

友好協力都市協約締結('23.8)
世宗テックパーク-北アイルランド貿易投資庁MOU('23.8)
世宗市-高麗大学-クィーンズ大学 MOU('23.8)
世宗市-ベルファスト経済協カロードマップ合意('24.4.)

□ Be Remarkable! Be the First!



06. 外国地方公務員招待研修 (K2H) プログラム研修生 世宗市発足以来初招待キャンプ

概要

23.9.14.~9.15.
K2H プログラム参加外国地方公務員39人

テーマ

世宗で出会う創造と挑戦そして未来
2023 K2H グローバル世宗キャンプ

主要成果

未来戦略首都広報及び協力事業
ストーリーのある来客視察プログラム運営
行事の満足度 82.6%

□ Be Remarkable! Be the First!



There are not many spots left.
Will you join the Sejong City Tour?

Have you ever encountered such shapes in "Squid Game"?
"ㅇ△□" are consonants in the Korean alphabet, known as Hangul,
which was created during the reign of King Sejong the Great in the Joseon Dynasty.

You can find the forms of these consonants throughout Sejong City, creating an impactful experience for tourists.

構成品

ウェルカムキット

ウェルカムカード

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread **ナラマルサミ** Worldwide

SEJONG PAPER

20 45 **EDITOR'S PICK** 12. 11

「都心では自動運転車、農村では広い庭園 未来戦略首都世宗の素顔印象的」 - 忠清日報 -

「今回が私の参加した5回のジャンボリーのうち人生最高のジャンボリーと言えます」 - マレーシア団長THIAN氏インタビュー -

01 **ブルガリア固有文字 世宗で出会う**

大田日報
ブルガリアが公務員と世宗市を結ぶ

02 **世宗市 国際協力の叢智を集め 地方時代実現に取り組む**

世宗市、 국제협력 중점 분야 지정 기대 구현 나간다

03 **海外公務員 研修聖地を夢見る**

海外公務員 研修聖地 夢見る

04 **世宗大規模の 国際行事「頭角」**

世宗 大規模 국제 행사 '두각'

05 **海外10カ国公務員 世宗ファムトリップ**

海外 10개국 공무원 '세종 탐방여행'

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread **ナラマルサミ** Worldwide

ナラマルサミ
Spread **나랏말싸미** Worldwide

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread **ナラマルサミ** Worldwide



今後の挑戦

ナラマルサミ(国の言葉が)[△○□]が全世界に届くよう
世宗市は新しさを創造し最初に挑戦し続けます。

中央行政機関などと協業し国際交流の中心地として跳躍

- 自治体主導国際協力網拡大、海外公務員研修過程誘致、市民外国語支援団運営

2026国際庭園都市博覧会、2027夏季世界大学競技大会

- 大規模国際イベント成功を基盤にグローバル都市に跳躍

ブルガリア ソフィア市との姉妹都市推進

- 友好都市バラ庭園造成、国際都市博覧会招待

△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread ナラマルサミ Worldwide



2024 ハクテオン 世宗

国際サイバーセキュリティウィーク

2024

HACKTHEON SEJONG

2024 HACKTHEON SEJONG CYBER SECURITY WEEK

2024.6.17(月)~6.21(金) | 政府世宗コンベンションセンター

2026 世宗 国際庭園都市博覧会

開催時期

'26. 4. 10.(金) ~ 5. 24.(日) 45日間

開催場所

世宗中央湖公園及び国立世宗樹木園など

テーマ

庭園の中の都市、未来の首都
未来庭園、共感庭園、活力庭園、ハングル庭園、
家族庭園

参加規模

19か国180万人(韓国人162万人、外国人18万人)

□ Be Remarkable! Be the First!





△ Ultra Korea Sejong □ Be Remarkable! Be the First! ○ Spread ナラマルサミ Worldwide

감사합니다



ご清聴ありがとうございました。





フブスグル県の観光 及び国際交流の現状

2024-05-22






フブスグル県の紹介

誕生年度: 1931年
 行政区域: 23郡、1街
 面積: 100,600km²
 人口: 137,969人
 県都: ムルン







- 1 フブスグル県の紹介
- 2 観光の現状
- 3 国際交流の現状



観光の現状

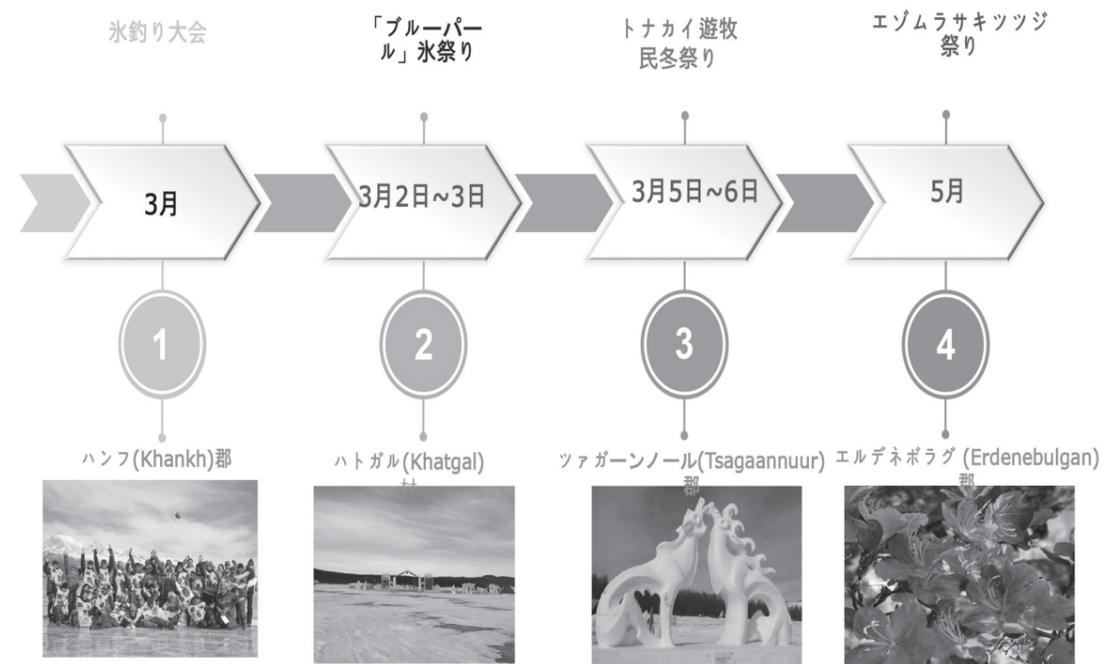
観光コース

フブスグル県の全地域を5つの観光区域に分けられます。各区域別の観光コースは以下の通りです。

「金のリング」 コース	「ブルーパール」 コース	「銀のリング」 コース	「青銅のリング」 コース	「銅のリング」 コース
乗馬旅行	乗馬旅行	「Eg-Uur」川周辺 ボート旅行	遊牧文化旅行	ボート旅行
写真撮影	ボート旅行	巡礼旅行	自然旅行	乗馬旅行
鳥類観察	研究及び学習旅行	乗馬旅行	温泉休養旅行	スポーツ釣り 旅行
冬の釣り、河川	水鳥の研究	自然景色撮影	歴史、考古学旅行	
	湖周辺の自転車旅行	温泉休養旅行		
		民俗及び動物学旅行		

観光の現状

観光イベントスケジュール



観光の現状

観光イベントのスケジュール



観光の現状

観光イベントスケジュール



観光の現状

主要イベント

氷釣り大会

2007年3月から毎年開催されており、ロシア、米国、ドイツ等から熱狂的な釣り愛好家に参加しています。



トナカイ遊牧民冬祭り及び夏祭り

ダルハド渓谷の冬と夏の自然の驚異を通じて、極端な気候のこの地域で自然と調和して暮らしてきたツァータンなど6の少数民族の文化遺産、ツァータン族巫女の風習を広め、地域経済を活性化する目的で、トナカイ遊牧民冬祭りを3月に、トナカイ遊牧民夏祭りを7月にそれぞれ開催しています。



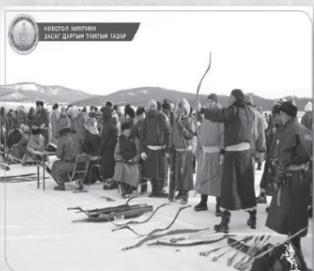
観光の現状

主要観光イベント

スポーツ大会



地域特産品の販売



「ブルーパール」氷祭り

2003年から毎年3月開催しており、氷祭りに訪れる観光客(ロシア、ベトナム、韓国、日本、フランス、ドイツ、米国、ドイツ、タイなど)の数が年々増加しています。2022年には観光客が2万人を上回り、2023年には5万人を上回りました。



氷タウン



芸術公演



観光の現状

主要観光イベント

ヤク祭り

2014年から毎年7月、ヤク乳の生産性向上、畜産農家支援、ヤク毛などの製品の市場販売の目的で、ヤク競技大会、ヤク手懐け大会、ヤク乳しぼり大会、ヤク毛製品展示会などのイベント開催



フブスグル県所在有限会社「Jinst Muren」は、ヤクの毛と山羊の毛(カシミヤ)で100%エコロジカルなニット製品を生産し、国内外の市場に販売

毎年3~4千個の製品生産及びヨーロッパ国家に輸出

観光の現状

主要観光イベント

「テス川周辺の遊牧民」文化遺産祭り

2か国、3県の8地域にわたって流れているテス川流域で毎年8月に開催

主要イベント:

- 遊牧民移動の試演
- モンゴル相撲大会
- 競馬大会
- 弓槍大会
- 学術会議
- ポニーレース大会
- テス川関連歌大会
- 「ホットゴイド族文化遺産」移動博物館運営など



観光の現状

主要観光イベント

ウルトラマラソン大会

2000年から国際ウルトラマラソン大会をフブスグル湖の西側周辺で毎年8月に開催しています。この大会の特徴はアスリートと愛好家が日の出から日没までフブスグル湖のほとりに沿ってオフロードを走ることです。大会に参加するアスリートからの収益金はフブスグル湖の廃棄物削減プロジェクトの資金として使用されます。



「氷水水泳大会」

1月6日、初めてフブスグル湖で開催された国際氷水水泳大会には、北極海、イギリス海峡、バルト海で水泳を楽しんだ経験のある北アフリカ、オーストラリア、イギリス、ドイツ、ポーランド、メキシコなど8か国の選手が参加しました。

フブスグル県でこの大会を開催したことで、モンゴルは国際氷水水泳協会の92番目の会員国となりました。



国際交流の現状

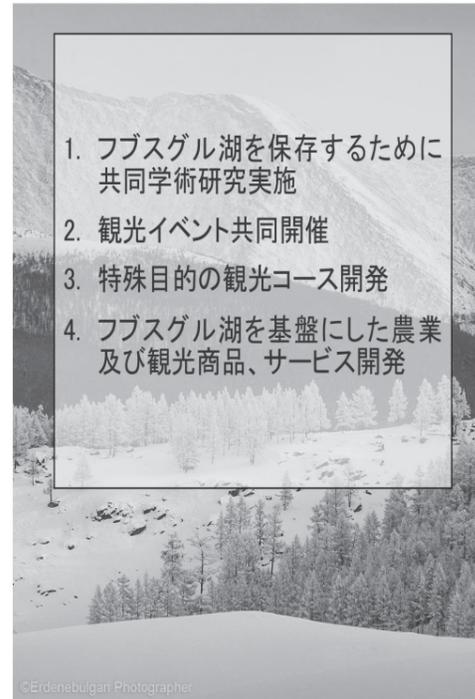
海外交流都市

7か国 14市道

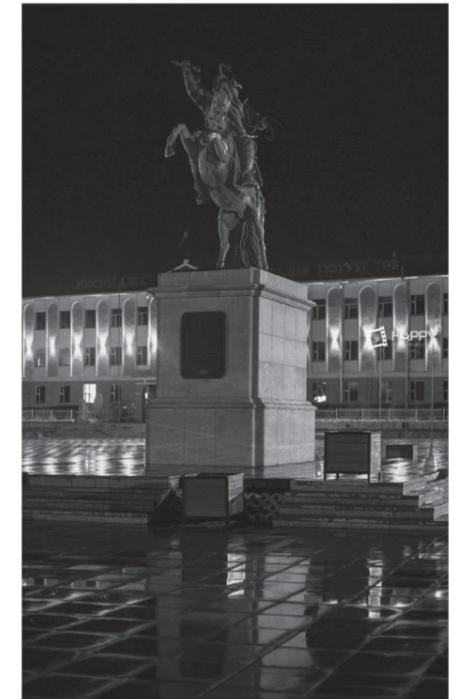


国際交流の現状

協力可能な分野



1. フブスグル湖を保存するために 共同学術研究実施
2. 観光イベント共同開催
3. 特殊目的の観光コース開発
4. フブスグル湖を基盤にした農業及び観光商品、サービス開発



国際交流の現況

大韓民国大田広域市西区-フブスグル県間の交流(2011~2024年)

「HEALING ART」祭り



交換学生プログラム



「ナーダム」祭り



保険関連教育研修



ご清聴
ありがとうございました。

+976 7038-3303
+976 7038-1111

huvsgulzdtg@khs.gov.mn

WWW.KHOVSGOL.GOV.MN

沿海地方の紹介

沿海州国際協力局副局長
Kolmogorov Alexey

会員自治体の皆様、こんにちは。

NEAR 会員自治体ワークショップにご招待いただき、ありがとうございます。新型コロナ感染症以来、海外での行事にオフライン参加するのは今回がはじめてです。

2019年からロシアはもちろん、全世界に多くの変化がありました。しかし、非常に重要で変わらない決定的な要素があります。それは地理的な位置です。沿海地方は北東アジアの中心に位置しており、特に地理的利点があるのが強みです。

沿海地方は、日本海に面しており、北極海航路が始まる所で、東と西を結ぶシベリア横断鉄道の終着地です。沿海地方の港のインフラは国境のない全てのアジアの国家と繋がっています。沿海州は東洋と西洋が出あうところだと自信をもって言えます。

東邦経済フォーラムでロシア・プーチン大統領は、極東地域が21世紀ロシアの戦略的優先順位であると述べました。これはロシア政府が極東に高い関心を示す証拠です。

沿海地方の最大の課題の一つは、インフラ開発です。最近我が地方は、交通システムを現代化するために多くの努力を払っています。その結果、沿海地方の航路を通じて計1億 5600万トンの貨物が処理されました。これは2022年対比5%増加しており、2013年対比56.5%増加した数値です。このうち輸出の貨物量は83%、1億 3000万トンで、輸入の割合は10%でした。

2023年のコンテナ処理量は2022年対比14%増加し、220万TEUを記録しました。ロシアに運送されたコンテナのうち半分はウラジオストクを通じて処理されています。2030年までに沿海地方は港の貨物処理量を2倍の3億トンまで増加させる計画です。

沿海地方の港はロシア極東海岸で最も大きな港であり、極東地域の総取扱貨物量の60%以上と、ロシアの総取扱貨物量の18%以上を処理しています。沿海地方は中国の国境に接しており、中国北東部から沿海地方を経て東南アジアに入る貨物の一部が含まれ、カーゴベース(cargo base)が満たされます。中国国境地域の現代化された陸路運送網で中国との商品交易を少なくとも2倍以上増加させられます。

また、ウラジオストクはロシアと沿海地方を中国、北朝鮮、タイ、ウズベキスタンと繋ぐ極東地域の重要な空港です。現在、ウラジオストクから北京、上海、ハルビン、延吉、大連、三亜、バンコク、プーケット、パッターヤ(ウタパオ)、平壤、タシケントまでの航空便が運航中です。まもなく新しい路線を拡大する計画です。また、韓国東海市とのフェリーも運航しています。これは現在ロシアと韓国の唯一の交通手段です。

交通アクセスの便利さのおかげで沿海地方は、長年にわたり国際観光分野をリードすることができました。観光は国家間の対話を維持するにあたり必須要素です。2023年には380万人の観光客が沿海地方を訪れており、そのうち13万人が外国人でした。観光客数は増え続けており、特にMICE観光客が増えています。これは沿海地方の観光分野における 明るい見通しを示しています。

以前は韓国の観光客が沿海地方を頻りに訪問してくれていました。2019年にはウラジオストクから韓国の様々な都市に1日10回運航しました。しかし、現在は韓国との直行便がなく、この数値では 新型コロナウイルスのパンデミック以前のレベルとでは比較になりません。

ウラジオストクは「東の小さなヨーロッパ」であり、ロシア極東グルメの都市です。ヨーロッパ、ロシア、アジアの料理を楽しめるレストランやカフェの開業数が毎年増加しています。沿海地方では、グルメ観光を促進するためにフードフェスティバルを開催します。5月と7月には「ムール貝フェスティバル」、10月には「カニフェスティバル」、7月から10月まで「カレイ類魚フェスティバル」、12月には「ヨーロッパワカサギ フェスティバル」を開催します。

大規模な国際イベントには、太平洋観光フォーラム(Pacific International Tourism Expo)(5月)、海洋会議(海洋 Congress)(5月)、東邦経済フォーラム(Eastern Economic Forum)(9月)、投資産業フォーラム(12月)などがあります。また、「ドラゴン」ボート競技大会(6月)、国際マラソン「ウラジオストク橋」(9月)、ウラジオストク要塞祭(9月)、「国際トラの日」など、様々なイベントが開催されます。

一方、ウラジオストクと沿海地方の歴史に注目していただきたいです。アジア太平洋地域の歴史に影響を与える多くの歴史的出来事が我が地域で起こりました。

ウラジオストク、ウスリースク、アルチョムなど、沿海地方の都市に韓国人独立運動記念碑を保存しています。これらの都市が以前韓国人観光客が訪れる主要な名所でした。また、日本戦争捕虜の墓地の保存を支援しています。沿海地方は20世紀 20初頭に日本軍を防御するために建設されたウラジオストク要塞を復元しています。しかし、特定の目的を意図して復元しているわけではありません。これらの要塞は観光客のための観光スポットとして活用されます。

ウラジオストクは2023年12月23日からロシアの若者の首都に指定されました。昨年我々は第1回夏季スポーツ大会である「沿海地域の子供」を開催しました。今年はベラルーシ、中国、北朝鮮、ウズベキスタンの選手が参加する第1回冬季スポーツ大会「沿海地域の子供」を開催しました。我が地方は全年齢のためのホッケーを積極的に開発しております。我が選手のレベルはかなりのハイレベルだ自負しております。我々の経験を共有するために18歳未満のロシア、韓国、中国、日本、北朝鮮、モンゴルなど希望する国から参加できるアジアホッケーリーグを作ろうとしています。

コジエマコ沿海地域知事は、スポーツの発展に大きな関心を寄せ、沿海地方で開催されるスポーツ大会にNEAR 会員自治体の皆様をご招待いたします。スポーツは政治とは別に若者たちの団結を促し、私たちの民族間の将来の関係のための基礎を築きます。

沿海地方マリンスキー劇場公演チームが北京、ハルビン、平壤で公演を行いました。観客の誰もが関心を寄せずにはいられませんでした。沿海地方はここ10年間、ロシア大統領の指示で文化複合団地、美術館、文化分野専門教育機関を沿海地方に建設し、一部は建設が最終段階にあるという事実を誇りに思っています。私どもはNEARの会員の皆さんがウラジオストクでロシアのバレエ、アート、音楽をお子さん達に親しんでもらうことをお勧めしたいと思います。

2024年3月現在、80か国3,460名の外国人学生が沿海地方の5つの主要大学で勉強しています。沿海地方の名門大学の一つで、教育水準でロシア上位30位以内に入る所である極東連邦大学です。極東連邦大学の留学生数を基準にTOP-5は、中国(46%)、インド(26%)、ウズベキスタン(6%)、イラン(4%)、エクアドル(2%)です。

極東連邦大学の留学生数は計2,482人です。全体外国人留学生の73%がブリックス(BRICS)会員国の学生で、53%は上海協力機構(SCO)会員国の学生、50%はアジア太平洋経済協力(APEC)会員国の順です。NEAR会員自治体の大学生に豊富な経験と特別な教育システムを備えた我が地方の主要大学でロシア語を学ぶことを提案いたします。

NEARが参加者間の会話できる機会を提供し、発展させていると確信しています。しかし、沿海地方は協力の会話をスポーツ、文化、観光、教育分野における協力を転換することを提案いたします。政治は人間の生活で何をするかの選択の自由や正しいかどうかを選別することはできません。人間はすべて平等であり、誰もが発展と協力の機会を見つけるために努力しています。

最後に、NEARにご招待いただき、この発表の機会をいただきましたことに感謝申し上げますながら、発表を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

イルクーツク州の紹介

経済開発産業部次官

Vasileva Svetlana

尊敬する林秉鎮事務総長!

尊敬する参加者の皆様!

NEAR会員自治体ワークショップにご招待いただき感謝申し上げます。美しい都市慶州をまた訪れることができ、大変嬉しく存じます。

イルクーツク州はロシアの主要地域の一つです。ユーラシア大陸の中心に位置しており、アジア-太平洋地域への貿易路線の交差点にあるという点で、「大地の中心」とよく言われています。

イルクーツク州は、強力な産業地域であるだけでなく、豊かな歴史文化遺産と古代の伝統を誇る地域です。ここでは、130以上の民族が平和に暮らしています。

イルクーツク州の外交相手国は90か国以上で、50か国以上からの学生がイルクーツク州の大学で学んでいます。

イルクーツク州は北東地方政府と長い期間、協力協定の提携を維持しています。例えば、韓国の慶尚北道、中国の遼寧省と黒竜江省、内モンゴル自治区、日本の石川県と姉妹・友好関係にあります。昨年、モンゴルのフブスグル県、ドルノゴビ県と協力に関するMOUを締結しました。

イルクーツク州政府は、外国との関係活性化及び新たな国際関係の構築を非常に重視しています。

この点で、我が地域では長年にわたり、国際音楽祭「バイカル之星」、「バイカル・ジャズ」、「バイカルの息」、民族文化祭「ヨーティン・ゲーム」、「アルタルガナ」、映画祭「人間と自然」、国際観光展示会「バイカルツアー」、国際観光フォーラム「バイカルでの休憩時間」を開催しております。

これらのイベントのいくつかはすでにご存知かもしれません。

2008年から開催されている**国際青少年フォーラム「バイカル」**はイルクーツク州の代表行事です。本日はこの国際青少年フォーラムについて詳しく紹介させていただきます。

フォーラムの目的は、主に自然と社会との相互作用、個人的および職業上の自己実現、コミュニケーション環境形成、青年イニシアチブ支援を通じて、青年の生活と活動を含む青年たちの成功のための能力開発です。

日時: 2024年 8月 12~16日

受付期間: 2024年 4月 19日 ~ 6月 29日

支援金コンテスト受付期間: 2024年 6月 1日~7月 21日



進行形式: 対面

参加者: 18 ~ 35歳の青年

参加するには「Youth of Russia」(grants.myrosmol.ru)に登録が必要となります。登録の後、選抜過程を経ることになります。フォーラム公式ウェブサイトは <https://forum-baikal.ru> です。

2024年のフォーラムのテーマは、「持続可能な開発目標」で、4つの主要分野(観光、企業家精神、青年コミュニティ、文化交流)を含みます。教育プログラムの主な構成要素は次の通りです。

1. プロジェクト: 社会-政治、社会-経済及び文化生活改善のためのプロジェクト開発
2. 教育: 講義、マスタークラス、ロールプレイング、ディスカッション及び政府関係者とのオープンな対話が含まれます。

この行事には通常約600人の参加者と 70人の中央政府及び地方政府の専門家が参加します。青年には支援金を獲得するために自分のプロジェクトを提出するチャンスが与えられます。昨年の支援金は総額は約15万ドルに達しました。参加青年は、地域や国の大企業のビジネスケースを研究し、ビジネスゲームや起業家の能力教育に参加します。

また、専門家が平和と調和を強化する活動に若者を参加させるための「青年団結学校」が運営されます。他にも、様々な環境イベントが開催されます。たとえば、バイカル湖畔に沿ってジョギングしながらゴミを拾うことです。

参加者のために4つの分野(戦術訓練、人材災害緊急事態、自然災害緊急事態、緊急処置)の応急処置大会が開かれます。

参加者がギターで歌を演奏したり、自由な雰囲気でのコミュニケーションをとったりする「吟遊詩人の夕べ」は、特別で友好的な雰囲気を作ります。

このフォーラムに参加することで、自分をアピールし、新しい友達を作るための良い機会を得るだけでなく、地域文化を紹介することもできます。また、世界最大かつ有名な 淡水湖であるバイカル湖を訪れて、良いエネルギーを得ることもできます。

皆様の地域の青年がこのイベントに興味を持ち、2024年8月にイルクーツク地方を訪れてくれることを願っています。

トムスク州の紹介

トムスク州国際及び地域間関係部専門委員

トルカツカヤ・オルガ

尊敬する林秉鎮事務総長!

尊敬するNEAR会員自治体の代表の皆様!

NEAR 実務者ワークショップを通じて、ご参加自治体の代表と直接お会いし、交流協力及び友好関係の発展可能な方向について論議できるようになり、大変嬉しく存じます。また本日、トムスク州を代表してこの場に立たせていただきますことを誠に光栄に存じます。

まず、トムスク州国際及び地域間関係部を代表して、実務者ワークショップを準備していただきましたNEAR事務局に心より感謝いたします。

トムスク州は2006年にNEAR会員として加入し、NEAR青少年絵画コンテスト、青年リーダーフォーラムなど、NEARの様々なプログラムに積極的に参加しております。

NEAR環境分科委員会でもトムスク州は、北東アジア地域環境ポスター展、北東アジア青少年環境リーダー育成事業に参加しており、2019年から個別プロジェクトとして「Eco-selfie – 自撮りで環境保護」という写真コンテストを実施しています。写真コンテストを通じて環境保護文化を形成し、環境保護活動に市民の参加を促す目的のものです。この写真コンテストに NEAR 会員自治体の皆様をご招待いたします。現在参加受付中です。

2024年8月 8~9日、Zoom(オンライン)で開催される NEAR環境分科委員会関連事業として、トムスク州は、富山県庁、環日本海環境協力センター(NPEC)と共に北東アジア青少年環境リーダー育成事業を開催する予定です。北東アジア青少年環境リーダー育成事業は北東アジア地域政府の支援を受け、毎年開催されます。このプロジェクトにNEAR会員自治体の皆様をご招待いたします。

トムスク市は科学と教育の中心地として形成され、発展し続けています。最初のトムスク帝国大学は1878年、アジアで5番目に設立された大学です。今日のトムスク州は科学技術の発展順位においてはロシア3地域(モスクワ、サンクト・ペテルブルグ、トムスク)の一つです。

トムスク市には65,000人以上の大学生が在学中で、その20%が外国の学生であり、ここには中国、モンゴル、韓国、日本出身の学生も2,500人以上含まれています。

トムスク市はモスクワ、サンクト・ペテルブルグと共に、大学生にとって魅力的でアクセスしやすく、安全面でも上位3大都市の一つです。トムスクは QS最高の学生都市ランキング TOP 100に入っております。教育プログラ



NEAR Members Workshop 2024

ムに関する詳しい内容は studyintomsk.ru ウェブサイトでご確認いただけます。トムスクの大学は、北東アジア地域の主要大学、研究所、技術企業とのパートナーシップ拡大に強い関心を持っております。

西シベリアの中心部に位置するトムスク州は、シベリアの大地に無限に広がるタイガ、「地球の肺」と呼ばれるヴァシュガン湿地、澄んだ川、湖が魅力的です。ユニークな木造建築技術の作品が、トムスク州を他に類を見ない文化名所にしています。トムスク州をご旅行なさるなら、「トムスク- シベリアの心臓!」というグループツアーを推薦いたします。(<https://tour.tomsk.life/excursions/64>)

トムスクの自然を感じ、民俗工芸に出会うために、毎年8月末にトムスク市で開催される国際民俗工芸フェスティバルである「斧祭り」皆さんをご招待いたします。長年にわたり「斧祭り」はトムスク州の最も有名で大規模な行事の一つになりました。この祭りでは、木の彫刻家、石工技術者、鍛冶屋、陶芸家、その他の珍しい技術者が彼らの技術を披露します。「斧祭り」は、トムスクのブランドの一つで、シベリアの木造建築の伝統を復活させ、国家の慣習と文化を紹介する重要なイベントとして挙げられます。毎年中国とモンゴルの技術者も大勢この祭りに参加しています。祭りで優勝した参加者には往復航空運賃及び宿泊費のご提供、ほかにも賞金獲得のチャンスもあります。詳しい内容は <http://plotnik.tomsk.ru> でご確認いただけます。

トムスク州は科学及び教育、産業と投資、人的交流のような分野での協力を希望しております。トムスク州は北東アジアの安定と繁栄のためにNEAR会員自治体との交流の扉をいつも大きく開いております。

最後に今回のNEAR実務者ワークショップの開催成功をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ

NEAR Members Workshop 2024

討議事項

- ・ (討議1) NEAR及びNEARへの要求・提案事項
- ・ (討議2) 分科委員会活性化対策案



討議及び会議

□ 提案理由

- 北東アジア地域自治体連合は1996年創立以来、6カ国81広域自治体地方政府の多者間交流協力の重要なプラットフォームとして位置づけられてきました。
- 21世紀のグローバル化時代に北東アジア地域の地方政府の役割の重要性が台頭している中、会員自治体の期待する事務局の役割と現在個別プロジェクト推進のために運営中の分科委員会(19個)が活性化できる対策は何かについて論議しようというのがその理由です。

□ 討議事項

1. 交流・協力プラットフォームに忠実な(事務局)役割遂行のため、(会員自治体の)事務局への要求・提案事項又は改善を望む事項。
 -
 -
 -
2. 環境、エネルギー・気候変動、経済協力など、現在北東アジア地方政府が直面している問題解決のために分科委員会を活用できる方法。
 -
 -
 -

□ 協力事項

- 上記の討議事項について会員自治体の多様なご意見をご提示ください。
 - 別途の形式なしで自由にご記述ください
 - 予算・非予算事項に縛られることなく自由にご提案ください。
 - 文化・観光・農業・経済など分野に関係なく自由にご提案ください。



2024 NEAR 会員自治体ワークショップ^o

NEAR Members Workshop 2024

参考事項

- ・ 参加者名簿
- ・ 2024 NEAR 主要国際行事
- ・ 憲章
- ・ 分科委員会の設置及び運営に関する規定

参加者名簿

China : 19 Participants from 9 Member Regions (3 participants from 2 prospective member regions included)

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Gansu Province	Bai Jian	Gansu Provincial Cultural Relics Bureau	Level II Bureau Rank Official
2		He Yuan	Foreign Affairs Office of Gansu Provincial People's Government	Level III Division Rank Official
3	Heilongjiang Province	Liu Yiting	Foreign Affairs Office of the People's Government of Heilongjiang Province	Level III Division Rank Official
4		Zhang Sihang	Foreign Affairs Office of the People's Government of Heilongjiang Province	Level II Principal Staff Member
5	Hunan Province	Chen Xiaomin	Hunan Provincial People's Association for Friendship with Foreign Countries	Secretary General
6		Li Baoguo	Division of Foreign Affairs and Trade, Economy and Industry Bureau of Gyeongsangbuk-do Province	Exchange officer
7	Liaoning Province	Kang Yi	Foreign Affairs Office of the People's Government of Liaoning Province	Deputy Director General
8		Wang Meng	Foreign Affairs Office of the People's Government of Liaoning Province	Level IV Division Rank Official
9	Inner Mongolia Autonomous Regions	Li Yelin	People's Government of Inner Mongolia Autonomous Region	Director
10		Ji Xiaohui	People's Government of Inner Mongolia Autonomous Region	Staff Member
11	Shandong Province	Chen Yugang	Foreign Affairs Office of Shandong Province	Deputy Director
12		Cui Lu	Foreign Affairs Office of Shandong Province	Deputy Director
13		Ma Ying-rui	International Economic Cooperation Division, Economy & Investment Office at Gyeonggi-do Province	Exchange Deputy Officer
14	ShanXi Province	Yue Yaochuan	Foreign Affairs Office of the People's Government of Shanxi Province	Foreign Affairs Administration Division Chief
15		Wang Yun	Foreign Affairs Office of the People's Government of Shanxi Province	General Affairs Division Level II Division Rank Official
16		Yang Guo Wei	Division of Foreign Affairs and Trade, Economy and Industry Bureau of Gyeongsangbuk-do Province	Exchange Officer
17	Qinghai Province	Zhang Xiaolong	Foreign Affairs Office of Qinghai Province	Level IV Division Rank Official
18	Tianjin City	Li Liang	Foreign Affairs Office of Tianjin	Section Chief
19		Jia Bohan	Tianjin-Hebei Region People's Government	Section Chief

Japan : 6 Participants from 4 Member Regions (2 participants from 1 prospective member included)

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Toyama Prefecture	Taniguchi Mariko	Civic Affairs, Environment & Culture Department International Affairs Division	Manager
2	Shimane Prefecture	Itohara Yasue	Culture and International Affairs Division	Senior Clerk
3		Park Hyeyeong	Culture and International Affairs Division	Coordinator for International Relations
4	Tottori Prefecture	Sasaki Shunsuke	Division of International Trade, Economic Bureau of Gangwon State	Exchange Officer
5	Okinawa Prefecture	Shiroma Hisashi	Peace and Subnational Diplomacy Promotion Division	Section Chief
6		Miyagi Koichiro	Peace and Subnational Diplomacy Promotion Division	Supervisor

South Korea : 48 Participants from 14 Member Regions

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Busan Metropolitan City	Koo Young-ah	International Relation Division, Tourism & MICE Bureau	Deputy Director
2		Lee Jeong-a	International Relation Division, Tourism & MICE Bureau	Deputy Officer
3	Daegu Metropolitan City	Chung Hae-kwan	Economic Bureau	Ambassador for International Relations
4		Kim Hyun-hea	Economic Bureau	Deputy Director
5		Oh Eun-kyung	Economic Bureau	Deputy Officer
6	Gwangju Metropolitan City	Park Seon-Cheol	International Exchange Division, Planning and Coordination Bureau	Ambassador for International Relations
7		Kang Seung-baek	Accounting Department of the Autonomous Administration	Deputy Officer
8		Kim Jong-hyeon	International Exchange Division, Planning and Coordination Bureau	Deputy Director
9		Cha Dong-Joon	International Exchange Division, Planning and Coordination Bureau	Deputy Officer
10	Daejeon Metropolitan City	Park Young-kyu	City Branding Division, Planning and Coordination Bureau	Ambassador for International Relations
11		Lee Yeon-jeong	City Branding Division, Planning and Coordination Bureau	Assistant Director
12	Ulsan Metropolitan City	Ahn Hyo-dae		Deputy Mayor for Economic Affairs
13		Park, Chul-min	Director-General for Policy Planning, Planning and Coordination Office	Ambassador for International Relations
14		Ryu Ji-eun	Investment Promotion Division, Future Strategy Headquarters	Officer
15		Kim Jeong Sik		Secretary of Deputy Mayor
16		Sung Dong Wook		Administrative Officer
17		Sejong Special Self-Governing City	Lee Ho-shik	External Cooperation Division, Planning & Coordination Office

18	Sejong Special Self-Governing City	Choi Yang-soo	External Cooperation Division, Planning & Coordination Office	Deputy Director (Head of International Affairs Team)
19		Kim Myo-ryoun	External Cooperation Division, Planning & Coordination Office	Officer
20		Kim Hyun-sik	External Cooperation Division, Planning & Coordination Office	Officer
21	Gyeonggi-do Province	Kim In-chul	International Economic Cooperation Division	Ambassador for International Relations
22		Cho Eun-suk	Trade and Investment Division	Deputy Officer
23	Gangwon State	Jo Yung-joon	International Relations & Trade Division, Economy Bureau	Ambassador for International Relations
24		So Eun-ju	International Relations & Trade Division, Economy Bureau	Head of International Relations Team
25		Kim Tae-hyen	Budget Division	Officer
26		Lee Su-yeon	International Relations & Trade Division, Economy Bureau	Officer
27	Chungcheongbuk-do Province	Kwak Tae-yeol	International Cooperation and Trade Division, Bureau of Economy and Trade	Ambassador for International Relations
28		Kim Ji-sun	International Cooperation and Trade Division, Bureau of Economy and Trade	Assistant Director
29		Lee Jae-eun	International Cooperation and Trade Division, Bureau of Economy and Trade	Assistant Director
30	Chungcheongnam-do Province	Woo Sung-kyu	Investment and Trade Policy Office	Ambassador for International Relations
31		Kim Kwang-su	Operating Support Division, Self-Governing Safety Office	Officer
32		Jeong Bo-ra	Investment and Trade Policy Office	Officer
33	Jeollanam-do Province	Park chull-joo	International Cooperation Office	Ambassador for International Relations
34		Yu Gwang-nam		Deputy Officer
35		Ko Da-hye	International Cooperation Office	Deputy Officer
36	Gyeongsangbuk-do Province	Kim Hak-hong		Deputy Governor for Administration
37		Chae Jin-weon	Division of Foreign Affairs and Trade	Ambassador for International Relations
38		Lee Jin-won	Division of Foreign Affairs and Trade	Director of the Division of Foreign Affairs and Trade
39		Cho Mi-hye	Division of Foreign Affairs and Trade	Deputy Officer
40		Lee jung-ah	Division of Foreign Affairs and Trade	Deputy Officer
41		Ahn Seong-eun	Division of Foreign Affairs and Trade	Deputy Officer
42		Jang Se-hyuk		Deputy Officer
43	Gyeongsangnam-do Province	Bae Byeong-soo	International Trade Division, Economy and Trade Bureau	Ambassador for International Relations
44		Jung Jae-yun	International Trade Division, Economy and Trade Bureau	Deputy Officer
45		Song Jong-seok	International Trade Division, Economy and Trade Bureau	Deputy Officer

46	Jeju Special Self-Governing Province	Ko Yun-ju	Peace & International Affairs Division, Tourism Exchange Bureau	Ambassador for International Relations
47		Hyun Jae-hee	Peace & International Affairs Division, Tourism Exchange Bureau	Deputy Officer
48		Kim Sung-mi	Peace & International Affairs Division, Tourism Exchange Bureau	Deputy Officer

Mongolia : 27 Participants from 12 Member Regions

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Bayanulgi Province	Myedyen Nurjol	Secretary of The Civil Service Council	Secretary
2		Tavikhia Ariuntsetseg	Division of Development Policy Planning and Investment, Governor's Office	Senior Specialist
3	Bulgan Province	Daarii Jargalsaikhan		Vice Governor
4		Byambaa Khulan	Division of State Administration, Governor's Office	Foreign Affairs Officer
5		Ankhubayar Sarantuya	Department of State Administration Governor's Office	Internal Affairs Specialist
6	Govisumber Province	Namsrai Altantsetseg	Department of Financial Control and Internal Audit	Head of Financial Control and Internal Audit Department
7	Darkhan-Uul Province	Batbayar Batzul	Darkhan county	Governor of Darkhan county
8		Batdorj Tumentsogt	Orkhon county	Governor of Orkhon county
9	Dornod Province	Tumurgarid Enkhtsetseg	Division of Finance and Treasury	Senior Specialist
10		Tumurtogoo Otgonsukh	Division of Monitoring, Governor's Office	Senior Specialist
11		Ulziitumur Tselvelmaa	Division of Archive, Governor's Office	Archivist
12		Mangaa Gangaamaa	Division of General Services, Governor's Office	Manager
13	Uvurkhangai Province	Nyamsuren Guamaral	Department of State Administration, Governor's Office	Senior Specialist
14		Davaakhuu Dash	General Services Office	Accountant
15	Sukhbaatar Province	Tsogoo Dashbalbar	Department of Public Administration, Governor's Office	Senior Specialist for Foreign Relations
16		Sukhee Undrakh	Department of Development Policy Planning and Investment, Governor's Office	Senior Specialist for Planning and Investment Policy
17	Selenge Province	Lkhagvasuren Tuguldur	Audit Office	Head of Division
18		Lkhagvajav Bayarsuren	Division of Law and Legal	Senior Specialist
19	Tuv Province	Enkhjargal Bayarbat	General Services Office	Head of the Service Office
20		Badgarbunchin Khishigdolgor	Division of State Administration, Governor's Office	Charge of Foreign Relations and Cooperation
21		Baasandorj D.	Division of International Trade, Economic Bureau of Gangwon State	Exchange Officer

22	Tuv Province	Oyun-Erdene N.	Division of International Trade, Economic Bureau of Gangwon State	Exchange Officer
23	Khovd Province	Nokhoijav Erdenetsetseg	Local Property Department of Khovd Province	Senior Specialist
24		Buyanbat Erdenechimeg	Administration Department of the Khovd Province Governor's Office	Senior Specialist for Foreign Relations
25	Khuvsgul Province	Erdenebadrakh Ulam-Usukh	Monitoring and Evaluation Division	Head Officer of Monitoring and Evaluation Division
26		Danzan Tsend-Ayunsh	Administration Department of the Khovd Province Governor's Office	Administration Department of the Khovd Province Governor's Office
27	Khentii Province	Davaanyam Uuganbayar	Department of State Administration, Governor's Office	Foreign Affairs Officer

Russia : 8 Participants from 4 Member Regions

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Republic of Buryatia	Mukhin Vsevolod	Government of Republic of Buryatia	First Deputy Prime Minister
2		Bukhasheeva Olga	Government of Republic of Buryatia	Advisor to the First Deputy Prime Minister
3	Primorsky Territory	Kolmogorov Alexey	Agency of International Cooperation of Primorsky Territory	Deputy Director
4		Lesniak Kirill	Government of Primorsky Territory	Advisor to the Governor
5		Palmov Vasiliy	Representative office of Ministry of Foreign Affairs of Russia in Primorsky Territory	Attache
6	Irkutsk Region	Vasileva Svetlana	Ministry of Economic Development and Industry of the Irkutsk Region	Deputy Minister
7		Laman Anna	Ministry of Economic Development and Industry of Irkutsk Region, Investment Climate and External Relations Department	Head of the Department
8	Tomsk Region	Tolkatskaya Olga	Tomsk Region Administration, Department of International and Regional Relations	Consultant

Assoc. Member : 2 Participants from 1 Prospective Member Region

No.	Member Region	Name	Affiliation	Position
1	Chui Area	Akaeva Aizhamal	Office of the Representative of the President of the Kyrgyz Republic in the Chui region, Department of Economics and Integrated Development of the Region	Chief Specialist
2		Mambetalieva Aiturgan	Office of the Representative of the President of the Kyrgyz Republic in the Chui region, Department of Organizational, Inspection, Personnel Work and Monitoring	Chief Specialist

2024年度NEAR主要国際行事

NO	国際行事名	開催時期	場所	行事内容
1	NEAR会員自治体ワークショップ	5月22日～24日	韓国	NEAR懸案の討議及び会員自治体間の結束力強化
2	NEAR会員自治体研修プログラム	6月26日～7月5日	韓国 嶺南大学校	地域の大学と連携し、北東アジア地方政府の直面している問題に関する研修プログラム運営
3	第1回 NEARエネルギー協力分科委員会	7月末	中国 内モンゴル自治区	エネルギー分野関連交流経験共有
4	第5回 NEAR青年リーダーズフォーラム	8月5日～8月9日(予定)	未定	大学(院)生を対象に、ディスカッション、文化体験等
5	2024 NEAR教育・文化交流分科委員会	8月21日～26日	日本 島根県	大学生を対象に、日本文化体験等の様々な交流を通じて、国を越えて相互理解と友好を深める国際交流プログラム
6	NEAR DAY	9月4日～5日(予定)	韓国 浦項市	韓国内の会員自治体及び自治体間の交流促進
7	第12回 NEAR青少年絵画コンテスト	9月13日までに受付	郵送	テーマ：我が地域・国の神話
8	第14回 高位級実務委員会	10月中	中国 遼寧省	開会式、分科委員会新設の提案、NEAR主要活動報告、現地視察など
9	第1回 NEAR革新プラス分科委員会	10月22日～10月24日	中国 湖南省	グリーン発展(水資源、生態、観光)分野の革新に関連した交流経験の共有
10	第1回 NEARデジタル経済分科委員会	10月予定	中国 遼寧省	ビッグデータ、人工知能、装備製造、新素材などの分野で実質的な交流推進
11	第13回 NEAR国際フォーラム	11月予定	韓国	テーマ、未定

※上記の日程は諸々の事情により変更になることもございます。

連合憲章

制 定 1996.09.12.
一部改訂 1998.10.21.
一部改訂 2002.09.11.
一部改訂 2004.09.08.
一部改訂 2010.10.28.
一部改訂 2014.10.22.
一部改訂 2016.09.27.
一部改訂 2018.10.29.
一部改訂 2022.09.21.
一部改訂 2023.10.25.

前文

国際社会に貢献する無限の潜在力を有する北東アジア地域自治体の代表は、互惠・平等の精神に基づき、行政・経済・文化など全ての分野において交流協力を推進することによって地域の共同発展を目指すとともに、世界平和に寄与する崇高な目的を達成するため、この憲章の採択に同意し、北東アジア地域自治体連合を設立する。

第1章 機構の名称及び目的

第1条(名称) この機構は「北東アジア地域自治体連合(The Association of North East Asia Regional Governments) (以下「連合」という。)」と称する。

第2条(目的) 連合は、北東アジア地域の自治体が互惠・平等の精神に基づき、全ての自治体間の交流と協力のネットワークを形成することによって、相互理解に即した信頼関係を構築し、北東アジア地域全体の共同発展を目指すとともに世界平和に寄与することを目的とする。

第3条(事業) 連合は次の各号の事業を行う。

- 1.北東アジア地域自治体会議(総会)の定例的な開催
- 2.地域間経済・技術及び開発に関する情報の収集及び提供
- 3.交流、協力に関する事業の支援及び推進
- 4.その他機構の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員等の範囲及び権利・義務

第4条(会員の範囲) 連合の会員は、北東アジア地域に位置する中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国、日本国、モンゴル国、大韓民国、ロシア連邦の自治体の中で、連合の設立目的に賛同し、総会において加入の承認を受けた広域自治体とし、総会の議決によって範囲を拡大することができるものとする。(2002. 9. 11.、2016. 9. 27. 改定)

第4条の2(準会員の範囲) 連合の準会員は、北東アジア地域以外の地域に位置し、連合の設立目的に賛同し、総会において加入の承認を受けた広域自治体をいう。(2016. 9. 27. 新設)(2022. 9. 21. 改正)

第5条(会員の権利・義務) 会員は、連合が行う多様な事業と活動に参加する権利を有し、この憲章の諸規定を誠実に守る義務を負う。

第5条の2(準会員の権利・義務) 準会員は、会員が有する権利・義務のうち、第7条の役員の選挙権及び被選挙権並びに第9条第1号の議決権を有しない。(2016. 9. 27. 新設)

第3章 組織及び機能

第1節 総会

第6条(構成及び運営) 総会は会員自治体の首長で構成する最高議決機関として、隔年で開催される。(2016. 9. 27. 改定)

第7条(役員) 総会には次の各号の役員を置く。

- 1.議長は1名とし、連合を代表し、総会を開催する自治体の首長をもって充てることとし、任期は総会満了日までとする。ただし、議長に事故があるときの職務は、所属自治体の副首長が代行する。(2002. 9. 11.、2010. 10. 28. 改定)
- 2.監事は、会員各国からそれぞれ1名ずつ、局長又は課長級職員を総会で選出し充てることとし、会計監査を所掌し、任期は第1号と同じものとする。(2016. 9. 27. 改定)
- 3.会費運営規程に定める場合に該当するときは、会員の第1号の議長及び第2号の監事の選挙権及び被選挙権を制限することができる。(2016. 9. 27. 新設)

第8条(機能) 総会は次の各号の機能を行う。

- 1.会員及び準会員の入会及び除名の議決(2016. 9. 27. 改定)
- 2.会費の決定
- 3.連合憲章の改定
- 4.機構の解散及び清算の決定
- 5.事務局設置場所の決定

6. 監事の選出
7. 予算・決算及び事業計画の承認
8. 会費運営規程で定める事項の承認(2016. 9. 27. 新設)
9. 次期総会開催に関する事項の決定
10. 連合の各事業計画の決定及び執行
11. その他必要と認められる事項

第9条(議事決定) 総会での議事決定は次の各号の方法による。

1. 会員自治体は各1票の議決権を有する。ただし、会費運営規程に定める場合に該当するときは、会員の議決権を制限することができる。(2016. 9. 27. 改定)
2. 第8条第1号から第5号の事項は、議決権を有する会員の過半数の出席と、出席した会員の3分の2以上の賛成により議決する。(2016. 9. 27. 改定)
3. 第8条第6号から第11号の事項は、議決権を有する会員の過半数の出席と、出席した会員の過半数の賛成により議決する。(2016. 9. 27. 改定)
4. 投票権を有する会員が書面にて意思を表示する場合も会員の出席として見なす。(2022. 9. 21. 新設)

第9条の2(高位級実務委員会への議事決定の委任) 総会が開催されない年度の第8条第1号、第7号及び第8号の事項の議事決定は、高位級実務委員会に委任して行うことができる。(2016. 9. 27. 改定)

第2節 高位級実務委員会

第10条(構成及び運営)

- ① 高位級実務委員会は、各会員自治体の首長が指名する局長級幹部によって構成され、高位級実務委員会の委員長は、総会が開催される年の前年度に会議を招集する。ただし、高位級実務委員会の委員長が必要と認める場合、臨時高位級実務委員会を招集することができる。(2014. 10. 22. 新設、2018. 10. 29. 改定)
- ② 高位級実務委員会の委員長は、議長自治体の副首長をもって充てる。
- ③ 高位級実務委員会の委員長は、総会で高位級実務委員会の会議の結果を報告するものとする。
- ④ 個別プロジェクト等の円滑な推進の支援のため、高位級実務委員会の補助機関として個別又は分野別に分科委員会を設置することができる。ただし、これにより新設された分科委員会は総会に報告しなければならない。(1998. 10. 21. 新設、2018. 10. 29. 改定)

第11条(機能) 高位級実務委員会は次の各号の機能を行う。

1. 事業計画及び個別プロジェクトの協議
2. 年次報告書及び会計報告書の作成
3. 会員自治体間の意見調整

4. 分科委員会の設置(構成、機能、運営方法等)に関する事項の決定(1998. 10. 21. 新設)
5. 総会で委任された事項の決定
6. その他必要と認められる事項

第3節 事務局

第12条(構成及び運営) 事務局は、連合の常設機構であり、各国・各会員自治体は必要に応じて連絡機関を置くことができる。事務局は慶尚北道に長期存続する。ただし、やむを得ない事由が発生したときは、総会の議決を経て事務局の場所を変更することができる。(2004. 9. 8.、2014. 10. 22. 改定)

第13条(役員及び職員) 事務局には次の各号の役員と職員を置く。

1. 事務総長は1名とし、事務局が所在する自治体の首長が推薦し、議長が任命する。
2. 事務局の役員と職員は、連合の派遣公務員で構成することを原則とする。ただし、事務総長が必要と認める場合には、議長の承認を受け、別の方法により構成することができる。

第14条(機能) 事務局は次の各号の機能を行う。

1. 予算編成及び執行
2. 事業計画書、年次報告書及び会計報告書の作成
3. 会員自治体間の業務連絡及び調整
4. 総会及び高位級実務委員会の議決事項の執行
5. その他必要と認められる事項

第15条(財政)

- ① 事務局の会計は特別会計とし、会員自治体の会費及びその他雑収入によって充当する。
- ② 会計に関する事項は暫定的に次の各号のとおり運営する。
 1. 連合の会員は会費を負担し、会費管理及び運営に必要な事項については別途会費運営規程で定める。(2016. 9. 27. 改定)
 2. 総会及び高位級実務委員会の開催経費は、次の各号のとおり分担する。
 - 1) 経費は、会議開催自治体が負担することを原則とする。但し、参加会員自治体代表団の滞在費に関しては、慣例により参加会員自治体から一定額を徴収することができる。(2022. 9. 21. 改定)
 - 2) 会員自治体に自然災害等のやむを得ない事情が生じ、負担が著しく困難な場合には、会員自治体間の協議により個別に合理的な減免措置を行うことができる。(2022. 9. 21. 改定)
 3. 事務局運営経費は、事務局が設置された自治体が負担する。
 4. その他個別的な交流協力事業の推進経費は、事業を提案した自治体が負担することを原則とし、その事業に参加を希望する自治体間の協議によって分担できるものとする。

第4節 連合支援機関

第16条(設置) 会員自治体は、北東アジア地域の発展に寄与するため、連合の活動を支援する機関(以下「連合支援機関」という。)を設置することができる。(1998. 10. 21. 新設)

第17条(登録)

- ① 会員自治体が連合支援機関を設置する場合、当該会員自治体の申請に基づき連合に登録することができる。(1998. 10. 21. 新設)
- ② 連合支援機関は、その活動状況を連合に報告する。(1998. 10. 21. 新設)

第4章 最終規定

第18条(効力) この憲章は2016年9月27日から効力を発生する。(2016. 9. 27. 改定)

第19条(会員の範囲) 連合の創立会員は、1996年北東アジア地域自治体会議に出席して、本憲章の基本精神に同意した自治体とする。

第20条(言語) この憲章は、会員各国の公用語及び英語で作成し、正本は事務局の文書保管所において保管し、写本は各会員自治体において保管する。(2010. 10. 28. 改定)

以上の内容を証明するため、下記の署名者は所属する各自自治体から正当に権限を与えられ、1996年9月12日、大韓民国慶尚北道慶州でこの憲章に署名した。

附則

この憲章は、1998年10月21日から施行する。

附則

この憲章は、2002年9月11日から施行する。

附則

この憲章は、2004年9月8日から施行する。

附則

この憲章は、2010年10月28日から施行する。

附則

この憲章は、2014年10月22日から施行する。

附則

この憲章は、2016年9月27日から施行する。

附則

この憲章は、2018年10月29日から施行する。

附則

この憲章は、2022年9月21日から施行する。

附則

この憲章は、2023年10月25日から施行する。

分科委員会の設置及び運営に関する規程

- 制 定 1998年 10月 21日
- 一部改定 2007年 9月 4日
- 一部改定 2008年 9月 2日
- 一部改定 2010年 10月 28日
- 一部改定 2011年 7月 19日
- 一部改定 2013年 9月 11日
- 一部改定 2017年 9月 26日
- 一部改定 2018年 10月 29日
- 一部改定 2023年 10月 25日

この規定は、北東アジア地域自治体連合憲章第10条4号の規定に基づき設置する分科委員会の設置及び運営に関する事項について定める。(2017. 9. 26. 改定)

第1条(設置) 北東アジア地域自治体連合の総会或いは高位級実務委員会において提案された個別のプロジェクトあるいは課題(以下「個別プロジェクト」という。)について、その円滑な推進を支援するため、分野ごとに分科委員会を置く。(2017. 9. 26. 改定)

第2条(分科委員会の種類及び名称) 分科委員会の種類及び名称は、次のとおりとする。

1. 経済・人文交流分科委員会(2013. 9. 11. 名称変更)
2. 環境分科委員会
3. 教育・文化交流分科委員会(2008. 9. 2. 統合)
4. 防災分科委員会
5. 削除(2017. 9. 26.)
6. 削除(2017. 9. 26.)
7. 海洋・漁業分科委員会(2008. 9. 2. 新設)
8. 観光分科委員会(2008. 9. 2. 新設)
9. 鉱物資源開発分科委員会(2010. 10. 28. 新設、2017. 9. 26. 改定)
10. エネルギー・気候変動分科委員会(2010. 10. 28. 新設)
11. 削除(2017. 9. 26.)
12. 生命・医療産業分科委員会(2011. 7. 19. 新設)
13. 農業分科委員会(2011. 7. 19. 新設)
14. スポーツ分科委員会(2013. 9. 11. 新設)

15. 物流分科委員会(2017. 9. 26. 新設)
16. 国際人材交流分科委員会(2017. 9. 26. 新設)
17. 国際電子商取引分科委員会(2017. 9. 26. 新設)
18. 革新プラス分科委員会(2018. 10. 29. 新設)
19. 青年政策分科委員会(2018. 10. 29. 新設)
20. 伝統医薬分科委員会(2018. 10. 29. 新設)
21. エネルギー協力分科委員会(2023. 10. 25. 新設)
22. デジタル経済分科委員会(2023. 10. 25. 新設)

第3条(機能)

- ① 各分科委員会は、提案自治体が主体となって実施する個別プロジェクトの円滑かつ効果的な推進を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方法等について、検討、協議を行う。(2017. 9. 26. 改定)
- ② 各分科委員会は、分科委員会参加自治体が提案した個別プロジェクトを担当し、検討、協議した結果を高位級実務委員会に報告する。(2017. 9. 26. 改定)

第4条(構成) 各分科委員会は、それぞれの分科委員会の担当分野に関心を有する自治体の担当部局の課長級の職員で構成する。

第5条(運営)

- ① 各分科委員会に、互選により、分科委員会の連絡、調整、運営を行う自治体(以下「コーディネート自治体」という。)を置く。(2017. 9. 26. 改定)
- ② コーディネート自治体の任期は2年とし、再任を妨げない。また、希望する場合は共同コーディネート自治体と共同で運営することができる。(2011. 7. 19.、2017. 9. 26. 改定)
- ③ 分科委員会の運営は、原則として通信方式(郵送、ファクシミリ等)により行うものとする。(2017. 9. 26. 改定)
- ④ 各分科委員会は、任期内に1回以上の会議又は関連活動をしなければならない。(2011. 7. 19.、2017. 9. 26. 改定)
- ⑤ 分科委員会の運営時、会員自治体からの参加は5カ国10自治体以上維持しなければならない。(2011. 7. 19. 新設、2017. 9. 26. 改定)
- ⑥ 必要に応じて、高位級実務委員会は分科委員会の運営現況を評価することができる。(2011. 7. 19. 新設)
- ⑦ コーディネート自治体が分科委員会を2年以上開催せず、他の会員自治体がコーディネート自治体を希望する場合、事務局は、コーディネート自治体の交代を高位級実務委員会の案件として上程することができる。(2018. 10. 29. 新設)
- ⑧ 高位級実務委員会において議決権を有する会員の過半数の出席と出席した会員自治体の過半数の賛成により、分科委員会のコーディネート自治体を交代することができる。(2018. 10. 29. 新設)

第6条(参加)

- ① 全ての会員自治体は、連合の全ての分科委員会に参加する資格を持つ。(2011. 7. 19. 改定)
- ② 各分科委員会の効率的な推進と実質的な交流協力のため、コーディネート自治体は、会員自治体地域の関連する専門家、企業関係者等を会議に出席させることができる。(2017. 9. 26. 新設)

第7条(費用) 分科委員会の運営に関する経費は、当該分科委員会のコーディネート自治体が負担する。ただし、分科委員会が会議を開催する場合、交通費及び滞在費は、原則として、会議参加自治体が負担するものとする。

第8条(連合事務局との関係) コーディネート自治体は、分科委員会で整理された内容を事務局に送付し、事務局はそれを分科委員会構成自治体以外の自治体へ送付するものとする。(2011. 7. 19.、2017. 9. 26. 改定)

第9条(規程の改正) この規程の改正は、高位級実務委員会が行うものとする。

附則

この規程は、1998年10月21日から施行する。

附則

この規程は、2007年9月4日から施行する。

附則

この規程は、2008年9月2日から施行する。

附則

この規程は、2010年10月28日から施行する。

附則

この規程は、2011年7月19日から施行する。

附則

この規程は、2013年9月11日から施行する。

附則

この規程は、2017年9月26日から施行する。

附則

この規程は、2018年10月29日から施行する。

附則

この規程は、2018年10月29日から施行する。

附則

この規程は、2023年10月25日から施行する。

